

第8期吹田健やか年輪プラン年次報告(2022年度)

<第8期吹田健やか年輪プランの進捗確認方法>

第8期吹田健やか年輪プランの年次報告において、進捗状況を確認するために、ロードマップ指標により評価し、取り組み内容等を確認します。

ロードマップ指標の評価は、第8期計画の最終年度(2023年度)の目標値に対する進捗を、下記の評価基準により評価します。

数値目標に対しては、2022年9月時点の数値を半年分の実績として用います。また、実績が出せないものも含め、目標に向けた取組(プロセス)も含めての評価とします。

【評価基準】 ロードマップの目標に向けて

A: 順調に進んでいる

B: やや目標値を下回っている

C: 改善が必要又は今後取り組む必要がある

第8期吹田健やか年輪プラン 年次報告(2022年度) 目次

| | |
|--------------------------------|----|
| 1 地域包括ケアシステム構築のロードマップ 進捗状況 | |
| 基本目標1 生きがいづくりと健やかな暮らしの充実 | 1 |
| 基本目標2 相談支援体制の充実 | 6 |
| 基本目標3 介護予防の推進 | 12 |
| 基本目標4 自立した暮らしの実現に向けた支援の充実 | 16 |
| 基本目標5 認知症支援の推進 | 21 |
| 基本目標6 在宅医療と介護の連携の推進 | 27 |
| 基本目標7 安心・安全な暮らしの充実 | 31 |
| 基本目標8 介護サービスの充実・介護保険制度の持続可能な運営 | 36 |
| 2 高齢者人口と高齢化率 | 40 |
| 3 介護サービス等の給付状況 | |
| 1 要支援・要介護認定者 | 41 |
| 2 介護サービス給付状況 | 42 |
| 3 地域密着型サービス事業所の整備数 | 49 |
| 4 介護予防・日常生活支援総合事業 | 51 |
| 5 介護給付費決算額 | 52 |

1 地域包括ケアシステム構築のロードマップ 進捗状況

基本目標1 生きがいづくりと健やかな暮らしの充実

施策の方向1 高齢者の地域活動や社会参加の促進(計画書 p.94～97)

| 番号 | ロードマップ 指標 | 年度 | 実績 | 目標 | 達成率 | 年度 の評価 | 評価理由等 |
|----|------------------------------------------------|-----------------|----------------|---------|-------|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| ① | 高齢者生きがい活動センター利用者数 | 2021年度 | 27,555人 | 54,566人 | 50.5% | B | 新型コロナウイルス感染症感染防止対策を講じながら、施設を開館している中で、利用者数が徐々に回復傾向にあるため。 |
| | | 2022年度 (9月末) | 23,282人 | | 42.7% | B | |
| | | 2023年度 | — | | — | — | |
| ② | 生きがいがある高齢者 【高齢者等実態調査】 | 2021年度 | — | 65.0%以上 | — | A | 新型コロナウイルス感染症感染防止対策を講じながら、生きがいづくりに関する事業を実施しているため。 |
| | | 2022年度 (9月末) | 2023.2 調査予定 | | | A | |
| | | 2023年度 | — | | | — | |
| ③ | 地区公民館主催講座延べ受講者数 | 2021年度 | 14,456人 | 57,294人 | 25.2% | B | 新型コロナウイルス感染症の影響により、人数制限等を行っていることから目標値を下回っているため。 |
| | | 2022年度 (9月末) | 13,121人 | | 22.9% | B | |
| | | 2023年度 | — | | — | — | |
| ④ | いきいきした地域づくり活動に参加者として「参加意向がある」高齢者 【高齢者等実態調査】 | 2021年度 | — | 65.0% | — | A | 介護支援サポーター養成講座の実施や、「すいた年輪サポートなび」に高齢者の生活支援情報(生活サポート)を新たに掲載するなど、取組を順調に進めることができているため。 |
| | | 2022年度 (9月末) | 2023.2 調査予定 | | | A | |
| | | 2023年度 | — | | | — | |

| 番号 | ロードマップ 指標 | 年度 | 実績 | 目標 | 達成率 | 年度の 評価 | 評価理由等 |
|----|-----------------------|-----------------|--------|--------|-------|-----------|--------------------------------------------------------------------|
| ⑤ | シルバー人 材センター 会員数 | 2021年度 | 1,921人 | 2,513人 | 76.4% | A | 新型コロナウイルス感染症感染防止対策を講じながら、入会説明会やボランティア等の自主活動を行う中で、会員数が感染前を上回っているため。 |
| | | 2022年度 (9月末) | 2,130人 | | 84.8% | A | |
| | | 2023年度 | — | | — | — | |

(1) 生きがいづくりの充実(高齢福祉室)

○高齢クラブについては、引き続き、いきいき百歳体操を主催して、地域を巻き込んだ取組を行い、会員拡大・組織活性化を図っていく。

(2) 集いの場の充実に向けた支援(高齢福祉室) **重点取組**

○広域型生活支援コーディネーターが高齢者のオンライン支援講座を開催するために4か所の地域で地区福祉委員会や大学生ボランティア、地域包括支援センター等と連携し支援した。

○ふれあい交流サロンについて、既設のサロンが8か所であったが、新たに事業運営団体が3団体決定した(2022.8)。引き続き、市内6ブロックに2団体ずつ、計12か所の整備を進めていく。

(3) 生涯学習の推進(まなびの支援課)

○生涯学習吹田市民大学でオンライン講座を実施するとともに、地区公民館において、グループの学習会等の貸館利用を実施するほか、健康づくり講座を実施。

(4) 地域活動参加への支援(高齢福祉室)

○検索サイト「すいた年輪サポートナビ」に高齢者の生活支援情報(生活サポート)を新たに掲載した。今後、情報を更新し、鮮度の高い情報を掲載し発信していく。

(5) 就労への支援(高齢福祉室、地域経済振興室)

○JOBナビすいたにおいて、高齢者を含む求職者に対し、就労相談や職業紹介を実施した。今後、シニア向け就職面接会を実施する予定(2023.2)。

施策の方向2 生涯を通じた健康づくりの推進(計画書 p.97～99)

| 番号 | ロードマップ 指標 | 年度 | 実績 | 目標 | 達成率 | 年度 の評価 | 評価理由等 |
|----|-------------------------------------|-------------|-------|-------|-------|-----------|-------------------------------------------------------------------|
| ⑥ | 成人(20～84歳)の週1回以上の運動・スポーツ実施率【市民意識調査】 | 2021年度 | — | 60.0% | — | B | 新型コロナウイルス感染症の影響により事業の中止期間があり、目標値をやや下回る見込みのため。 |
| | | 2022年度(9月末) | 44.9% | | 74.8% | B | |
| | | 2023年度 | — | | — | — | |
| ⑦ | 生活習慣改善に取り組む人の割合 | 2021年度 | 63.8% | 67.0% | 95.2% | A | 2022年度の割合は算出されていないが、2021年度の結果が前年度より若干であるが上昇しており、計画通りの取組を実施しているため。 |
| | | 2022年度(9月末) | — | | — | A | |
| | | 2023年度 | — | | — | — | |

(1)生涯スポーツの推進(文化スポーツ推進室)

- 市民体育館での高齢者スポーツ教室等は、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じた上で、スポーツ施設の利用促進に努めた。
- ノルディックウォーキング指導者研修会を実施し、89名の指導者を認定した(2021～2022)。

(2)健康づくりの推進(健康まちづくり室) **重点取組**

- 健都において、産学官民連携による健康に係るサービス等を生み出す仕組みとして「健都ヘルスサポーター制度」を立ち上げ(2022.3)、同制度を活用した健康に係る実証事業を実施。
- 北千里駅前で、地域団体や大学等と連携し、住民主体の健康づくりの取組を支援する健康まちづくり支援事業を実施した(2021.10)。地域団体や事業者等と連携し、まちぐるみで健康づくりに取り組んでいただけるよう、他地域や団体への展開を検討している。

(3)健康診査及び各種検診の啓発及び受診率の向上(成人保健課、国民健康保険課) **重点取組**

- 国民健康保険加入者に対する人間ドック助成の上限額を増額(2022.4)。
- 特定健診の未受診者に対し勧奨を実施(2022.11)。
- 研究事業として、心不全のリスクスコアによるスクリーニングとBNP検査を追加して実施(2020.11～2022.11)。
- 健(検)診の必要性や受診方法をわかりやすく記載した冊子(各種健診・検診ガイド)を作成し、全戸配布(2022.10)。

- がん検診の啓発ポスターを作成し、市内のスーパーや薬局に掲示した(2022.9)。みんなの健康展、口腔ケアセンター10周年記念式典事業でがん検診受診勧奨ティッシュを配付し、公式SNSでも発信。今後、健都ライブラリー(健康応援コーナー)やメイシアター(ワクチン接種会場)でポスターを掲示し、啓発していく。
- 国保フォローアップ事業の対象者の案内にフレイル予防のちらしを同封(2021.11)。吹田市健康づくり推進事業団発行の「健康すいた」にフレイル予防と骨粗しょう症検診受診啓発の記事を掲載(2022.1)。今後、フレイル予防をテーマにすいた健康サポーターフォローアップ講座を開催する(2022.12)。

(4)口腔ケアへの支援(成人保健課、高齢福祉室)

- 市民の歯と口腔の健康づくりを推進するため、健都ライブラリーにて歯科疾患と全身疾患との関連等について啓発するとともに、口腔ケアセンター設立10周年記念式典を開催し、記念講演会と体験型イベントを通じて参加者に歯と口腔の健康づくりについて啓発(2022.10)。
- オーラルフレイル対策の啓発
 - ・市内で後期高齢者医療歯科検診を受診した市民に検診票の本人控えを活用して、オーラルフレイル予防について啓発。
 - ・検診の必要性や受診方法をわかりやすく記載した冊子「各種健診・検診ガイド」を作成し、全戸配布した。
 - ・歯科医師によるお口元気アップ教室、介護予防講演会において、オーラルフレイルを啓発している。
- 健(検)診の案内を受け取ることができるLINEセグメント配信登録促進のために、母子健康手帳交付時や乳幼児の歯科検診会場に登録方法のポスターを掲示し登録を呼びかけた。今後、登録方法のPRを掲載した掲示物を歯科医院に配布する予定。
- 糖尿病治療中で歯科未受診者に歯科検診受診勧奨はがきを送付(2022.10)。
- 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の取組として、地域を担当する歯科衛生士がひろばde体操等の通いの場において、オーラルフレイル予防を啓発、ハイリスクアプローチとして個別相談を実施(2022.10～)。

(5)疾病予防等の推進(成人保健課、国民健康保険課、地域保健課、高齢福祉室) 重点取組

- 従来実施している糖尿病性腎症重症化予防プログラムに加え、糖尿病治療中断者のフォローを開始しており、今後、対象医療機関を拡充(2022.10～)。
- 国立循環器病研究センター、吹田市医師会と共同で吹田市検診受診者を対象とした心不全に関する研究「健都循環器病予防プロジェクト」を開始し(2020.11～2022.11)、その中で心不全のリスクのある人を対象に重症化予防の集団保険指導(2021.3～)、個別保険指導(2021.8～)を開始。
- 新型コロナウイルスワクチン及び高齢者肺炎球菌定期予防接種を実施。
- はつらつ体操教室、いきいき百歳体操、ひろばde体操等、介護予防事業、地域ケア会議等を活用して、環境省作成の熱中症リーフレットを配布するとともに、屋内外でのマスク着用基準を

説明。また、ゴミ収集車を活用し、熱中症予防の啓発を実施するとともに、地域ケア会議での共有も実施した。毎年5月以降に熱中症に関する注意喚起を介護予防事業等を活用して実施していく。

(6) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施(成人保険課、国民健康保険課、高齢福祉室)

重点取組

- 庁内での連携により、オーラルフレイルのハイリスクアプローチを開始(2022.10)。
- ヒアリングフレイル予防のために国保検診の受診票送付時に聞こえのチェックリストを(2022.11)。
- 生活習慣病重症化予防として、2023 年度後半以降に心不全に関するハイリスクアプローチの開始を目指し、庁内関係課と調整している。

基本目標2 相談支援体制の充実

施策の方向1 地域包括支援センターの適切な運営と機能強化(計画書 p.102～103)

| 番号 | ロードマップ 指標 | 年度 | 実績 | 目標 | 達成率 | 年度の 評価 | 評価理由等 | |
|----|------------------------------------------|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|-----------|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| ① | 地域包括 支援センタ ーの評価 | 2021年度 | 2019年度の 業務実施状 況の評価に ついては、全 地域包括支 援センターが 評価基準を 満たしたこ とを確認。 | 全地域包 括支援セ ンターが 評価基準 をすべて 満たしてい る | — | A | 目標を満たすこ とができおり、取 組を順調に進め ることができてい るため。 | |
| | | 2022年度 (9月末) | 2020年度の 業務実施状 況の評価に ついては、全 地域包括支 援センターが 評価基準を 満たしたこ とを確認。 | | | A | | |
| | | 2023年度 | — | | | — | | |
| ② | 地域包括 支援センタ ーの認知度 【高齢者等 実態調査】 | 2021年度 | — | 47.0% | — | A | 地域包括支援セ ンターについて、 地域の行事等あ らゆる機会を通 して周知を図っ ており、取組を 順調に進めるこ とができている ため。 | |
| | | 2022年度 (9月末) | 2023.2 調査予定 | | | A | | |
| | | 2023年度 | — | | | — | | |
| ③ | 地域ケア 会議開催 回数 | 2021年度 | 33回 | 34回 | 97.1 % | A | 地域ケア会議を 開催して関係機 関とのネットワ ーク構築を、順 調に進めること ができているた め。 | |
| | | 2022年度 (9月末) | 14回 | | | 41.2 % | | A |
| | | 2023年度 | — | | | — | | — |

(1)地域包括支援センターの適切な運営と機能強化(高齢福祉室)重点取組

○国の「地域包括支援センターの業務評価を通じた機能強化」の内容に沿って、地域包括支援センターが自己評価を行い、市が1次評価を実施。

2022年度末までに、1次評価結果のモニタリングを行うとともに、5年間の委託契約の4年目を迎えるセンターについて外部評価も実施し、センターの機能強化と安定的な業務継続を図る。

(2)相談窓口の周知・充実(高齢福祉室)重点取組

○地域包括支援センターについて、地域の行事等のあらゆる機会を通して周知を図ったり、要支援要介護認定の結果通知に地域包括支援センターの一覧を同封。

(3)地域包括支援センターと関係機関とのネットワークの構築(高齢福祉室)

○今後、地域ケア会議とすいたの年輪ネットとの連動と自立支援型ケアマネジメント会議で個別の事例検討の積み重ねから抽出した地域課題をすり合わせ、課題の解決に向けての検討や高齢者の生活支援の創出に繋がる取組の強化を図っていく。

○地域福祉市民フォーラム、高齢者見守り体制づくり講演会、地域ケア会議研修会の合同企画で、地域共生社会をテーマにした研修を含めた「2022年度地域福祉市民フォーラム」を開催する予定(2023.1)。

施策の方向2 地域での支え合い機能の強化(計画書 p.104～107)

| 番号 | ロードマップ 指標 | 年度 | 実績 | 目標 | 達成率 | 年度 の評価 | 評価理由等 |
|----|----------------------------------------------|-----------------|----------------|------------|-------|-----------|--------------------------------------------------------------|
| ④ | 高齢者支援事業者との連携による見守り事業協力事業者数(累積) | 2021年度 | 735 事業所 | 744 事業所 | 98.8% | B | 目標値におおむね達しており、取組を順調に進めることができているため。 |
| | | 2022年度 (9月末) | 742 事業所 | | 99.7% | A | |
| | | 2023年度 | — | | — | — | |
| ⑤ | いきいきした地域づくり活動に企画・運営として「参加意向がある」高齢者【高齢者等実態調査】 | 2021年度 | — | 37.0% | — | B | コロナ禍の影響を受けたが、生活支援体制の整備に向け、広域型生活支援コーディネーターを中心に取組を進めることができたため。 |
| | | 2022年度 (9月末) | 2023.2 調査予定 | | | B | |
| | | 2023年度 | — | | | — | |

(1)相談支援の連携体制の構築(高齢福祉室、福祉総務室、生活福祉室、障がい福祉室)

- 「ダブルケア」や「8050 問題」、複合課題を抱える高齢者等を総合相談業務にて把握し、適切な支援に繋げている。地域共生社会の実現に向け、関係機関と連携し適切な支援体制の構築を検討する。
- 生活困窮者の多様な相談に応じ、適切なサービス提供につなげている。複合的な課題への迅速な対応のため、関係機関との連携を強化する。
- 各地域において、地域包括支援センターと障がい者相談支援センターの連携が図られるようになってきており、課題を抱える方に対して支援を実施している。8050 問題について、相談機関がより適切に支援を実施できるよう、対応マニュアルを整備し、センター間の連携強化を図っていく。

(2)地域における支え合い活動への支援(高齢福祉室、福祉総務室)

- 地区福祉委員会によるグループ援助活動(いきいきサロンやふれあい昼食会等)について、コロナ禍の制約を受けながらも継続して活動できるよう支援や補助を実施。
- 民生・児童委員の研修受講環境を整備するため、オンライン研修や Web 研修などの受講につながるよう取組を進めた。引き続き、民生・児童委員の担い手確保のために、市職員及び教員 OB に対する勧奨を行う。また、民生・児童委員協議会によるホームページ立ち上げ支援を行う等、活動を知ってもらう機会を増やすとともに、民生委員の活動環境改善のため、事務や会議の ICT 化を進め、負担軽減を図り、担い手確保に取り組む。

○タクシー・はりきゅうクーポンの事業者の更新時に「高齢者支援事業者との連携による見守り」ちらしを同封し、「大阪府高齢者にやさしい地域づくり推進協定」を締結した企業や高齢者支援事業者との連携による見守り講演会や認知症サポーター養成講座に参加した事業所に対して協力の依頼を行うなど、事業への周知を行う機会を検討していく。

(3)生活支援体制の整備に向けた仕組みづくりの推進(高齢福祉室)

○広域型生活支援コーディネーターの取組として、地域団体や大学生、介護事業所等が協力し、高齢者のためのオンライン支援講座を地域で開催したり、アクティブシニアの参加を促すために助け愛隊ボランティア講座を実施。

(4)生活支援等の担い手としての活動参加の促進(高齢福祉室)

○助け愛隊ボランティア講座を開催(2022.10)。今後、広域型生活支援コーディネーターが助け愛隊ボランティア講座を受講したのち助け愛隊に登録された方と支援を要する方とのマッチング作業を行い、高齢者が担い手として活動できるように支援していく。

(5)民間企業等が実施する生活支援サービスへの支援(高齢福祉室)

○検索システム「すいた年輪サポートナビ」に高齢者の生活支援情報「生活サポート」を追加。

施策の方向3 権利擁護体制の充実(計画書 p.108～111)

| 番号 | ロードマップ 指標 | 年度 | 実績 | 目標 | 達成率 | 年度 の評価 | 評価理由等 |
|----|--------------------------------------------------------------------|-----------------|----------------|-------|-----|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ⑥ | 成年後見 制度認知 度 【高齢者等 実態調査】 | 2021年度 | — | 36.0% | — | A | 成年後見制度の 理解や利用促進 のための出前講 座実施や、市ホ ームページ等によ る制度周知を行う など、取組を順調 に進めることができ ているため。 |
| | | 2022年度 (9月末) | 2023.2 調査予定 | | | A | |
| | | 2023年度 | — | | | — | |
| ⑦ | 高齢者虐 待の認識に ついての調 査に誤回 答等をして いる介護者 【高齢者等 実態調査】 | 2021年度 | — | 5.0% | — | A | 地域における出 前講座や市報に より高齢者虐待 防止に関する啓 発を行っており、 取組を順調に進 めることができ ているため。 |
| | | 2022年度 (9月末) | 2023.2 調査予定 | | | A | |
| | | 2023年度 | — | | | — | |

(1)権利擁護事業の充実(高齢福祉室、福祉総務室、障がい福祉室)

○吹田市成年後見制度利用促進体制整備検討会議設置要領を策定し(2022.7)、第1回会議を開催した(2022.8)。今後、同会議を活用し、権利擁護支援の地域連携ネットワークの中核となる機関の設置に向けた検討を行う。

(2)高齢者虐待防止への適切な対応の促進(高齢福祉室)

○高齢者虐待対応評価会議(年4回)、高齢者虐待対応レビュー会議(年2回)を開催し、地域包括支援センターによる高齢者虐待の対応スキルの向上やケースワークの進捗状況の振り返りを実施。

(3)高齢者虐待防止に向けた取組の推進(高齢福祉室、人権政策室)重点取組

○吹田市・吹田市教育委員会・吹田市人権啓発推進協議会の共催による「2022 市民ひゅーまんセミナー」において、「共に生きる日々と社会」～認知症地域共生社会に向けて～をテーマとした講演会を実施(2022.9)。

○認知症支援と連動した高齢者虐待防止の取組として、認知症サポーター養成講座等で高齢者虐待防止の取組についての啓発を進めている。

(4)消費者被害の防止に向けた啓発の推進(市民総務室、高齢福祉室)重点取組

- 悪質商法・特殊詐欺被害防止のため、消費生活センター主催講座や出前講座での啓発や、本庁ロビーでのパネル展示、自治会への啓発ちらしの配付、地域包括支援センターや市内介護事業所へちらしや見守りハンドブックの配付を行った。
- 特殊詐欺被害防止連絡会議において、庁内外の機関との情報共有及び啓発情報の発信を行った。

基本目標3 介護予防の推進

施策の方向1 介護予防の普及啓発の推進(計画書 p.116)

| 番号 | ロードマップ 指標 | 年度 | 実績 | 目標 | 達成率 | 年度の 評価 | 評価理由等 |
|----|------------------------------------------------|-----------------|----------------|------|-----|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| ① | 健康の保持・増進や介護予防のために、心がけていることが「特にない」高齢者【高齢者等実態調査】 | 2021年度 | — | 2.0% | — | C | 新型コロナウイルス感染症感染防止対策を徹底しながら、介護予防教室や講演会を継続し、またフレイル予防気軽に相談会を開催するなど、取組を順調に進めることができているため。 |
| | | 2022年度 (9月末) | 2023.2 調査予定 | | | A | |
| | | 2023年度 | — | | | — | |

(1) 高齢者本人の介護予防意識の啓発(高齢福祉室) **重点取組**

- 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の取組として、フレイル予防気軽に相談会を開始し、高齢者が日常生活でよく利用するスーパー等の施設で、各圏域年1回以上実施する体制を構築。
- 今こそ！栄養教室をオンラインにより実施(2022.1)。
- はつらつ元気手帳に「自宅で介護予防(日常生活編)」を加え、家事が身体活動につながることを啓発。(はつらつ元気手帳延べ配付数 2020年度導入以降の累積配付数 5,916冊(2022.9末))
- ICTを活用した認知機能維持・向上教室として「脳いきいき教室」を民間事業者に委託して開催していく(2022.10～)。

(2) ハイリスク高齢者の早期発見(高齢福祉室)

- はつらつ元気シート(基本チェックリスト)の活用方法を地域包括支援センターと共有。
- 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の取組として、低栄養ハイリスク者、認知症ハイリスク者として加齢性難聴高齢者の早期把握の体制を構築。今後、心不全ハイリスク者の把握方法を検討していく。
- ICTを活用した認知機能評価として「脳体力測定 CogEvo」を導入し運用開始(2022.10～)。
- 体力測定、口腔機能評価、認知機能評価、聴力チェックをまとめて受けることができるフレイル測定会(仮)の実施に向けて検討を進める。

施策の方向2 住民主体の介護予防活動支援の充実(計画書 p.117~118)

| 番号 | ロードマップ 指標 | 年度 | 実績 | 目標 | 達成率 | 年度 の評価 | 評価理由等 |
|----|----------------------------------------|-------------------|-------------|-------------|--------|-----------|-----------------------------------------------------------------------------|
| ② | ひろば de 体操実施 箇所数 | 2021 年度 | 17 か所 | 15 か所 | 113.3% | A | 目標としていた全 地域包括圏域で 実施されることにな ったため。 |
| | | 2022 年度 (9 月末) | 19 か所 | | 126.7% | A | |
| | | 2023 年度 | — | | — | — | |
| ③ | いきいき 百歳体操 実施グルー プ数 | 2021 年度 | 155 グループ | 300 グループ | 51.7% | C | コロナ禍の影響に より、実施グルー プ数が伸び悩ん でおり、目標値に 達するための改 善等が必要と思 われるため。 |
| | | 2022 年度 (9 月末) | 156 グループ | | 52.0% | C | |
| | | 2023 年度 | — | | — | — | |
| ④ | いきいき 百歳体操 参加者数 (活動支援 1 回目) | 2021 年度 | 2,117 人 | 4,500 人 | 47.0% | C | コロナ禍の影響に より、参加者数が 伸び悩んでおり、 目標値に達する ための改善等が 必要と思われる ため。 |
| | | 2022 年度 (9 月末) | 2,152 人 | | 47.8% | C | |
| | | 2023 年度 | — | | — | — | |
| ⑤ | 介護予防 推進員活 動者数 | 2021 年度 | 137 人 | 202 人 | 67.8% | B | コロナ禍の影響を 受け、養成講座 等参加者数が低 迷したが、活動人 数は維持したた め。 |
| | | 2022 年度 (9 月末) | 137 人 | | 67.8% | B | |
| | | 2023 年度 | — | | — | — | |

(1)身近な地域における住民主体の介護予防活動支援の充実(高齢福祉室) **重点取組**

- いきいき百歳体操について、おためし講座、活動支援講座、フォロー講座、ステップアップ講座を実施。今後、運営ボランティアの養成や会場確保のための補助金等、支援体制を検討する。
- 通所型介護予防サービス事業所に、吹田市オリジナル介護予防体操を周知。
- 市の訓練職を派遣しフォロー講座を実施している住民主体の介護予防グループに対し、活動継続長寿者を表彰する体制構築を検討している。
- ICT を活用した認知機能評価として、「脳体力測定 CogEvo」の住民主体の通いの場での導入に向けて検討・調整を行っている。

(2)介護予防推進員の養成及びフォローアップ(高齢福祉室)

- 介護予防推進員を養成するため、介護予防推進員養成講座を開催。2021年度の介護予防推進員新規登録者数は13人。
- 介護予防推進員スキルアップ研修については、2021年度に3回実施し、延べ89人が参加。2022年度は、「ずっと吹田で、ずっと元気に～もう一度学ぼう！介護予防と認知症支援～」と題して開催(2022.7)。今後、活動状況アンケートを取りまとめ、介護予防推進員登録者数の整理を行うとともに、現行の事業から興味関心のある市民へのアプローチを継続していく。

(3)介護予防活動のための拠点の確保(高齢福祉室)

- 直営で実施しているはつらつ体操教室について、地域の巡回や地域包括支援センターとの連携により会場を確保する地域展開を行いながら、介護予防活動のための拠点となりうる身近な施設について情報収集している。また、はつらつ体操教室卒業後の継続利用について支援を実施。

施策の方向3 介護予防事業の充実(計画書 p.118)

| 番号 | ロードマップ 指標 | 年度 | 実績 | 目標 | 達成率 | 年度の 評価 | 評価理由等 |
|----|-------------------------------------|-----------------|-------|-------------|-----|-----------|---------------------------------------------------------|
| ⑥ | 75歳以上 高齢者の 要支援・要 介護認定 率 | 2021年度 | 32.7% | 32.8% 以下 | — | A | コロナ禍ではあるものの、介護予防の取組を進めることにより、目標値以下に抑えることができていると考えているため。 |
| | | 2022年度 (9月末) | 32.6% | | | A | |
| | | 2023年度 | — | | | — | |

(1)民間企業等との連携による介護予防の推進(高齢福祉室)重点取組

- ICTを活用した認知機能評価として「脳体力測定 CogEvo」の運用開始し、ICTを活用した認知機能維持向上教室を「脳いきいき教室」として実施(2022.10～)。
- ヒアリングフレイル・加齢性難聴対策について、民間事業者と連携を開始。
- 国立循環器病研究センターと吹田フレイル予防ネットを構築。
- 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施として行う講演会、相談会をアスマイルポイント対象事業として実施。引き続き、他市状況や大阪健活マイレージアスマイルについて情報収集を行っていく。

(2)介護予防事業の評価・検証(高齢福祉室)重点取組

- 国保データベースシステム(KDB)から出力される各種帳票を活用して、大阪府・全国と健康寿命(平均自立期間)や要介護認定率、被保険者千人あたりのレセプト件数を国・府と比較し、一体的実施の連絡調整会議等で共有し、評価指標としての検討を行う。また、大学との共同研究による評価を実施するための検討を行う。

基本目標4 自立した暮らしの実現に向けた支援の充実

施策の方向1 自立支援型ケアマネジメントの浸透・定着(計画書 p.122～123)

| 番号 | ロードマップ 指標 | 年度 | 実績 | 目標 | 達成率 | 年度 の評価 | 評価理由等 |
|----|--------------------------------------------------|-----------------|--------|--------|--------|-----------|-----------------------------------------------------------------------|
| ① | 自立支援型ケアマネジメントを十分に理解している事業者【自立支援型ケアマネジメント研修アンケート】 | 2021年度 | 21.1% | 70.0% | 30.1% | A | 地域包括支援センターと居宅介護支援事業所向けに自立支援型ケアマネジメントの研修を開催するなど、取組を順調に進めることができてきているため。 |
| | | 2022年度 (9月末) | 81.0% | | 115.7% | A | |
| | | 2023年度 | — | | — | — | |
| ② | ケアプランのケース検討数 | | 47 ケース | 48 ケース | 97.9% | B | ケアプラン検討数は達成見込みだが、居宅介護支援事業所からの事例提供が少なく、自立支援・重度化防止の定着・浸透が十分とは言えないため。 |
| | | 2022年度 (9月末) | 24 ケース | | 50.0% | B | |
| | | 2023年度 | — | | — | — | |

(1)自立支援型ケアマネジメントの浸透・定着(高齢福祉室)

- 大阪府アドバイザー派遣を活用し、地域包括支援センターと居宅介護支援事業所向けに、自立支援型ケアマネジメント研修を開催。自立支援型ケアマネジメント会議の取組と分析結果を報告(2022.9)。
- 広報インセンティブ付与(※)の周知を進めながら、地域包括支援センターだけでなく、居宅介護支援事業所からの自立支援型ケアマネジメント会議への事例提供を積極的に促した。
- 介護支援専門員資質向上研修(法定外研修)実施の周知を行い(2022.7、2022.9)、今後、同研修を実施する予定(2022.11、2023.1)。
- 介護予防講演会や市民からの相談等において、介護保険の理念や自立支援の観点を継続して啓発。

※広報インセンティブ付与

すいた年輪サポートなびの事業所名の頭に自立支援・重度化防止の取組を評価する★マークを付与すること。

(2)多職種協働によるケアプランの検討(高齢福祉室)重点取組

- 多職種が協働してケアプランの確認や見直し、またケアプラン実践後の振り返りを行う、自立支援型ケアマネジメント会議(年 12 回開催予定)について、感染拡大防止に努めながら、上半期に6回実施。介護保険サービス事業者からの参加促進のため、2022 年度は6ブロックの圏域で開催。
- 市全体で自立支援・重度化防止の取組の浸透・定着を推進できるよう、地域包括支援センター及び介護保険サービス事業所の取組を評価する広報インセンティブ付与の周知を図っていく。

施策の方向2 高齢者安心・自信サポート事業の充実(計画書 p.124)

| 番号 | ロードマップ 指標 | 年度 | 実績 | 目標 | 達成率 | 年度 の評価 | 評価理由等 |
|----|---------------------|-----------------|----------------|----------------|-----|-----------|---------------------------------------------------------|
| ③ | 訪問型・訪問型短期集中サポートサービス | 2021年度 | 1回算定報酬を設定 | 必要に応じ複数事業所の利用可 | — | A | 訪問型サポートサービスについて、必要に応じ複数事業所の利用を可能とし、取組を順調に進めることができているため。 |
| | | 2022年度 (9月末) | 必要に応じ複数事業所の利用可 | | | A | |
| | | 2023年度 | — | | | — | |
| ④ | 通所型サポートサービス | 2021年度 | 1回算定報酬を設定(※) | 事業内容の多様化や拡充を検討 | — | A | 通所型サポートサービスについて、必要に応じ複数事業所の利用を可能とし、取組を順調に進めることができているため。 |
| | | 2022年度 (9月末) | 必要に応じ複数事業所の利用可 | | | A | |
| | | 2023年度 | — | | | — | |

(1) 多様な主体による生活支援の充実に向けた支援(高齢福祉室)

- 作業療法士による身体機能や住環境アセスメント、福祉用具の選定に関する助言などが活用できるよう支援内容の多様化を図っており、専門職の活用を周知した。
- 訪問型・訪問型短期集中サポートサービスについて、同一のサービス種類で、複数の事業所を利用する旨をケアプランに位置付けている場合は、それぞれの事業所が1回算定報酬とする設定を実施(2022.4～)。
- ※通所型入浴サポートサービスについては、開始当初(2018年10月)から原則1回算定報酬

(2) 多様な主体による通いの場の充実に向けた支援(高齢福祉室)

- 通所型サポートサービスについて、同一のサービス種類で、複数の事業所を利用する旨をケアプランに位置付けている場合は、それぞれの事業所が1回算定報酬とする設定を実施(2022.4～)。
- 自立支援・重度化防止の積極的な支援を評価する広報インセンティブ付与を開始し、1回算定報酬と広報インセンティブの説明会を実施し(2022.5)、周知。

(3) 多様な生活ニーズに対応したサービス体系の充実(高齢福祉室)

- 訪問型サービスについて、今後、訪問型サービスAの構築を検討する。

施策の方向3 暮らしを支える在宅福祉サービス等の提供(計画書 p.125～126)

| 番号 | ロードマップ 指標 | 年度 | 実績 | 目標 | 達成率 | 年度の 評価 | 評価理由等 |
|----|----------------------------|-----------------|---------|---------|-------|-----------|------------------------------------------------|
| ⑤ | 救急医療 情報キット 延べ配布 数 | 2021年度 | 16,072人 | 18,730人 | 85.8% | B | コロナ禍の影響により十分な周知活動を行うことができず、延べ配布数の伸び率が低迷しているため。 |
| | | 2022年度 (9月末) | 16,320人 | | 87.1% | B | |
| | | 2023年度 | — | | — | — | |

(1)在宅福祉サービス等の提供(高齢福祉室、事業課、総務交通室、水道部総務室)

- 高齢者在宅福祉サービスについて、地域包括センターでの受付や、サービスの手引き、申請書類と記入例を市ホームページに掲載することで利便性を高める。
- 緊急通報システム事業について、緊急通報装置に付随する人感センサーの給付を実施(2021.4～)。
- 安心サポート収集(登録件数 369 件(2022.9 末)) や高齢者世帯声かけサービス(2021 年度申込件数7件、実施世帯数7件)、高齢者運転免許自主返納制度について、引き続き、市ホームページや市報等で周知。
- 高齢者の外出支援リーフレットを市ホームページで周知。
- 「すいた年輪サポートナビ」に高齢者の生活支援情報(生活サポート)として追加(2022.8)。

(2)ひとり暮らし高齢者への支援の充実(高齢福祉室、福祉総務室、水道部総務室)

- 救急医療情報キットについては、市内 15 か所の地域包括支援センターと2か所の出張所で配布し、市報や民生・児童委員にも協力を依頼し、普及活動を行っている。公民館や図書館でも救急医療情報キット等の掲示により周知。また、外出時に携帯できる救急医療情報カードも配布。
- 地区福祉委員会によるグループ援助活動(いきいきサロンやふれあい昼食会等)について、コロナ禍の制約を受けながらも継続して活動できるよう支援、補助を実施。
- 高齢者友愛訪問活動については、新型コロナウイルス感染症の影響により訪問ができなくなったときでも、電話による声かけをするなど工夫して実施。今後、高齢者が増加していく中で、引き続き活動できるよう委託法人と定期的に協議を行っていく。
- 高齢者世帯声かけサービスについて、引き続き市ホームページや市報等で周知していく。(2021 年度 申込件数7件、実施世帯数7件)

施策の方向4 介護者支援の充実(計画書 p.127)

| 番号 | ロードマップ 指標 | 年度 | 実績 | 目標 | 達成率 | 年度 の評価 | 評価理由等 |
|----|----------------------------------------|-----------------|----------------|--------|-------|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| ⑥ | 介護相談 件数 | 2021年度 | 1,551件 | 2,270件 | 68.3% | A | 取組を順調に進めることができているため。 |
| | | 2022年度 (9月末) | 1,137件 | | 50.1% | A | |
| | | 2023年度 | — | | — | — | |
| ⑦ | 介護を理由 に退職した 介護者 【高齢者実 態調査】 | 2021年度 | — | 0.0% | — | A | 市ホームページに仕事と介護の両立支援についての情報提供とともに、地域包括支援センターの総合相談において介護離職の相談を行うなど、介護離職防止に向けた取組を進めているため。 |
| | | 2022年度 (9月末) | 2023.2 調査予定 | | | A | |
| | | 2023年度 | — | | | — | |

(1) 家族介護者への支援の充実(高齢福祉室) **重点取組**

○介護者が気軽に相談できる窓口である地域包括支援センターについて、あらゆる機会を通じ、周知を図っている。また、認知症サポーター養成講座開設時に、認知症カフェや「吹田コスモスの会」についても周知を行っている。

(2) 男性介護者への支援の充実

(高齢福祉室、地域経済振興室、人権政策室、男女共同参画センター)

○高齢者虐待対応についての研修やケアマネジャーの情報交換の実施の際には、男性介護者支援の事例やテーマを取り上げ、男性介護者への早期の支援を啓発。また、地域包括支援センターによる男性介護者を対象とした地域活動を実施。

○シニア対象の「初心者向け男性料理講座」を開催し(2022.5)、料理スキルの向上とともに、地域の男性コミュニティの形成を支援。

(3) 介護離職防止に向けた取組の推進

(高齢福祉室、地域経済振興室、人権政策室、男女共同参画センター)

○地域包括支援センターに、ちらし「仕事と介護両立のポイント～あなたが介護離職しないために～」を配付し周知。また、総合相談内容における介護離職の相談件数の把握を開始(2021.4～、2021年度109件)。

○市内事業者に対し、ワーク・ライフ・バランスの推進をテーマにした研修会(出前講座)を実施するとともに、市ホームページやSNSを活用し、両立支援のための情報提供を実施していく。

基本目標5 認知症支援の推進

施策の方向1 認知症についての啓発(計画書 p.130)

| 番号 | ロードマップ 指標 | 年度 | 実績 | 目標 | 達成率 | 年度の 評価 | 評価理由等 |
|----|-----------------------------------------|-----------------|---------|---------|-------|-----------|-----------------------------------------------|
| ① | 認知症サ ポーター養 成講座受 講者数(年 度末累積) | 2021年度 | 27,434人 | 31,480人 | 87.1% | B | コロナ禍の影響によりサポーター養成講座の中止や、定員枠の縮小に伴い受講者数が低迷したため。 |
| | | 2022年度 (9月末) | 27,819人 | | 88.4% | B | |
| | | 2023年度 | — | | — | — | |

(1) 認知症の本人からの発信支援(高齢福祉室) 重点取組

○チームオレンジを検討するにあたって、地域包括支援センターの総合相談、いきいき百歳体操のグループやはつらつ体操教室の参加者から対象者を抽出して意見を聞く機会を検討。

(2) 身近な場所での認知症の情報の周知(高齢福祉室)

- アルツハイマー月間に合わせて、市役所玄関ロビー、千里ニュータウンプラザのエントランスホールで、認知症に関する普及啓発のパネル展示を行った(2022.9)。
- 南千里公民館で「吹田市オレンジフェア」として認知症に関する講座を開催(2022.9)。
- 図書館とも連携し、認知症に関する本の展示やコーナーを設置。

(3) 認知症サポーターの養成(高齢福祉室)

- 認知症サポーター養成講座について、地域包括支援センターをはじめ、市内の公共施設や商業施設等でのポスター掲示及びちらし配布、市報や市ホームページへの掲載、市の介護予防教室等で周知。また、地域包括支援センターが地域活動を通して地域の企業・団体に働きかけを行い、講座の開催につなげている。
- 大学連携推進協議会を通じて、次年度の授業内容に組み込んでいただけるよう、認知症サポーター養成講座の再開を依頼。
- 認知症サポーター養成講座について、コロナ禍であっても認知症に対する正しい知識を持ち、理解を深めることができるようにオンラインや土日の開催を行っていく。

施策の方向2 地域における見守り体制の構築(計画書 p.131～132)

| 番号 | ロードマップ 指標 | 年度 | 実績 | 目標 | 達成率 | 年度 の評価 | 評価理由等 |
|----|---------------------|-----------------|----------------|--------------|-------|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| ② | みまもりあいアプリダウンロード数 | 2021年度 | 6,147人 | 20,135人 | 30.5% | B | コロナ禍の影響により、アプリ周知の機会が減少し、ダウンロード数が低迷しているため。 |
| | | 2022年度 (9月末) | 7,108人 | | 35.3% | C | |
| | | 2023年度 | — | | — | — | |
| ③ | 認知症サポーターの自主的な活動への支援 | 2021年度 | フォローアップ研修等の実施 | 活動の場の提供・集団支援 | — | A | 感染対策をしながら活動を続けている認知症サポーターにスポットを当てたフォローアップ講座の実施や、今後ステップアップ講座の開催を予定しており、取組を順調に進めることができているため。 |
| | | 2022年度 (9月末) | ステップアップ講座を開催予定 | | | A | |
| | | 2023年度 | — | | | — | |

(1) 地域における見守り体制構築に向けた支援(高齢福祉室) **重点取組**

○認知症サポーター養成講座において、「認知症地域サポート」の紹介と「徘徊高齢者検索模擬訓練」の声かけ体験を行い、事業を周知。

(2) 事業者との連携による見守りネットワークの構築(高齢福祉室)

○みまもりあいステッカーとアプリケーションソフトウェアによる検索方法を実施(117人登録(2022.9末))。ステッカー登録数、アプリダウンロード数は年々増加傾向にあり、引き続き、市職員を含め様々な機会をとらえて周知活動を行う。

○徘徊高齢者SOSネットワーク事業について、吹田市介護保険事業者連絡会、地域ケア会議、認知症サポーター養成講座、民生・児童委員長会議、福祉委員長会議、大学連携推進協議会で、市民や民間事業者の従業員等に周知。

(3) 認知症サポーターへの自主的な活動への支援(高齢福祉室) **重点取組**

○コロナ禍でも感染対策をしながら活動を続けている認知症サポーターにスポットを当てたフォローアップ研修を実施(2022.2)。今後、ステップアップ講座を開催する予定(2023.3)。

○コロナ禍の影響で、自主的な活動の場の提供等が難しい認知症サポーターに対しては、講座の受付や講座内で行う声かけ体験の徘徊高齢者役を担ってもらっている。

施策の方向3 認知症の人とその家族への支援(計画書 p.133~135)

| 番号 | ロードマップ 指標 | 年度 | 実績 | 目標 | 達成率 | 年度 の評価 | 評価理由等 |
|----|-------------------------------|-----------------|-----------------------------------|----------------|-----|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| ④ | 認知症についての情報の周知 | 2021年度 | ・ホームページを活用した情報発信 ・アルツハイマー月間の取組 | ポータルサイトホームページ等 | — | A | 認知症に関するパネル展や認知症サポーター養成講座等を通じて、認知症に関する情報の周知を図っているため。 |
| | | 2022年度 (9月末) | | | | A | |
| | | 2023年度 | — | | | — | |
| ⑤ | 認知症に関する相談窓口の認知度 【高齢者等実態調査】 | 2021年度 | — | 24.0% | — | A | 認知症ケアパスなどにおいて相談窓口の周知を図っているため。 |
| | | 2022年度 (9月末) | 2023.2 調査予定 | | | A | |
| | | 2023年度 | — | | | — | |
| ⑥ | 認知症ケアパス | 2021年度 | 5,000部 | 随時更新・配布 | — | A | 認知症ケアパスの随時更新ができており、2021年度に印刷した認知症ケアパス第4版を順調に配布できているため。 |
| | | 2022年度 (9月末) | 随時更新・配布 (0部) | | | A | |
| | | 2023年度 | — | | | — | |
| ⑦ | 認知症初期集中支援チーム | 2021年度 | 1チーム設置 評価・検証 選定等委員会の開催 | ケースの分析と課題抽出 | — | A | 認知症初期集中支援チームが、認知症が疑われる人や認知症の人、その家族に支援を行い、また関係機関との連絡会を開催して情報共有を図るなど、取組を順調に進めることができていたため。 |
| | | 2022年度 (9月末) | | | | A | |
| | | 2023年度 | — | | | — | |
| ⑧ | 認知症カフェ | 2021年度 | 22か所 | 周知・後方支援 | — | B | コロナ禍の影響により、再開できていないカフェがあるため。 |
| | | 2022年度 (9月末) | 19か所 | | | B | |
| | | 2023年度 | — | | | — | |

(1) 認知症についての情報の周知(高齢福祉室) **重点取組**

- 認知症の状態に応じた適切なサービスが分かる「認知症ケアパス」の第4版を 5,000 部印刷し、認知症サポーター養成講座、地域ケア会議、アルツハイマー月間の展示等に配架(2022.9)。
- すいた年輪サポートナビで、認知症の診療情報について発信し、また、すいた年輪サポートナビでの診療情報の掲載について、ちらしや市報で周知。

(2) 早期発見・早期対応に向けた支援の充実(高齢福祉室) **重点取組**

- 認知症チェックリストについては、吹田市国保健康診査の案内送付の際にちらしを同封して案内を実施。
- 認知症が疑われる人、認知症の人やその家族に対して、認知症初期集中支援チーム員が訪問し、専門的な知識・技能を有する医師の助言を受けながら、適切な医療・介護サービスにつなげる等安定した在宅生活を送るための支援を行っている。
- 認知症初期集中支援チームについて、附属機関による業務実施状況の外部評価を行った(2022.11)。

(3) 認知症の人を支援するための介護サービスの充実(高齢福祉室)

- 認知症伴走型支援事業の構築に向けて、認知症支援のための専門的研修の意向調査を実施。今後、認知症高齢者グループホーム、特別養護老人ホーム、小規模多機能型居宅介護等の施設において、事業構築のための懇談会等によりスキーム作りを行う予定。

(4) 認知症の人の家族への支援の充実(高齢福祉室)

- みまもりあいステッカー・アプリケーションソフトによる検索依頼を実施(2020.8～)。(117 人登録(2022.9 末))
- 徘徊高齢者家族支援サービス事業は、21 人(2022.9 末)利用。ただし、2023 年 3 月末で市と業務委託している事業者との契約は終了を予定。
- 認知症老人徘徊感知機器の貸与(介護保険サービス)について、支援者等に広報。
- 認知症高齢者等支援対象者情報提供制度では、高齢者の住所地を担当する地域包括支援センターが担当ケアマネジャーや家族等への連絡を通じて、医療受診や福祉サービス等の必要な支援につなげている。
- 運転免許自主返納等による支援対象情報提供制度では、高齢者の住所地を担当する地域包括支援センターが本人や家族への連絡を通じて、情報提供や福祉サービス等の必要な支援につなげ、在宅での生活が継続できるよう支援している。引き続き、市職員を含め、あらゆる機会を通じてみまもりあいアプリのダウンロードを啓発していく。

(5)身近な地域での相談や集える場所の確保(高齢福祉室)

| 番号 | ロードマップ 指標 | 年度 | 実績 | 目標 | 達成率 | 年度 の評価 | 評価理由等 |
|----|--------------|-----------------|----------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|-----|-----------|-------------------------------------------------------------|
| ⑨ | 認知症地域支援推進員 | 2021年度 | 1チーム 設置 評価・ 検証 選定等委 員会の 開催 | 認知症の人の 本人発信 支援講座の 開催 関係機関の 認知症対応 力の向上 支援 | — | B | コロナ禍の影響により、認知症の人の本人発信支援や地域サポートが実施できていないが、情報の周知や啓発には取り組んだため。 |
| | | 2022年度 (9月末) | | | | B | |
| | | 2023年度 | — | | | — | |

- 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設併設の認知症カフェは休止中だが、他は徐々に再開。また、サービス事業所と併設の認知症カフェは、サービス事業所の廃業や移転に伴い閉所し、減少している。
- 認知症カフェは地域の団体等が自主的に運営等を行っているものであることから、認知症地域支援推進員が認知症カフェの周知や運営に関する支援等の後方支援を行っていく。

(6)認知症の人の権利擁護の推進(高齢福祉室)

- 成年後見制度や成年後見制度利用支援事業について、市ホームページやちらしの配布を通じ周知。
- 地域包括支援センターによる出前講座を実施するとともに、吹田市社会福祉協議会の日常生活自立支援事業担当者と連携会議を開催し、情報共有や連携に努めた。今後、成年後見制度利用促進に係る地域連携ネットワークの中核となる機関の設置に向けた検討等を行う。

(7)若年性認知症の人の支援(高齢福祉室、障がい福祉室)

- 「若年性認知症の有病率及び生活実態に関する調査」の調査結果から、本市の若年性認知症の人は約 110 人と推計される。地域包括支援センターが若年性認知症のケースの把握シートにより、市や認知症地域支援推進員と情報共有し、障がい福祉室や障がい相談支援センターと連携を図っている。

施策の方向4 効果的な支援体制の構築とケア向上の取組の推進(計画書 p.136)

(1) 認知症地域支援推進員による取組の推進(高齢福祉室) 重点取組

- 認知症地域支援推進員が、認知症初期集中支援チーム、地域包括支援センター、認知症疾患医療センターとの連絡会を開催(2022.3、2022.9)。
- 認知症地域支援推進員について、附属機関による業務実施状況の外部評価を行った(2022.11)。

基本目標6 在宅医療と介護の連携の推進

施策の方向1 在宅療養を支えていくための連携体制の推進(計画書 p.141～143)

| 番号 | ロードマップ 指標 | 年度 | 実績 | 目標 | 達成率 | 年度 の評価 | 評価理由等 |
|----|--------------------------|------------------|-------|-------|-------|-----------|--------------------------------|
| ① | 多職種連携研修参加者の医療介護連携の主観的満足度 | 2021年度 | 25.9% | 50.0% | 51.8% | A | 取組を順調に進めることができているため。 |
| | | 2022年度 (11月末) | 27.8% | | 55.6% | A | |
| | | 2023年度 | — | | — | — | |
| ② | 退院支援加算の体制を取っている病院数 | 2021年度 | 10か所 | 10か所 | 100% | A | 目標値に達しており、取組を順調に進めることができているため。 |
| | | 2022年度 (9月末) | 10か所 | | 100% | A | |
| | | 2023年度 | — | | — | — | |

(1)在宅療養推進のための研修の実施(高齢福祉室、保健医療総務室)重点取組

- 多職種連携研修会について、「日常の療養支援」をテーマに開催した(2022.11)。
- 第1回ケアマネ塾(「高齢者が罹りやすい目の疾患について」(2022.8))、第2回ケアマネ塾(「高齢者が罹りやすい整形外科疾患について」(2022.11))、ケアマネ懇談会(各ブロック2～3回)を開催した。
- 人生会議(ACP(アドバンス・ケア・プランニング))のちらしを地域ケア会議やケアネット実務者懇話会で配付し、医療・介護関係者に対する理解促進を図っている。
- 医療介護関係者向け ACP 研修プログラムの展開に向けて調整している。

(2)在宅医療・介護連携のための情報共有の支援(高齢福祉室、保健医療総務室)

- ICT を活用した医療・介護関係者間の情報共有の方法について理解を深めるため、ケアネット実務者懇話会の作業部会において学習会等を実施した。
- 吹田市ケア倶楽部に「大阪府入退院支援の手引き」や吹田市版情報共有ツール(利用者情報提供書、退院前カンファレンスチェックシート)を掲載し、活用の促進を図っている。また、外来連携シートは2021年度から運用を開始した。
- 病院、診療所、歯科診療所、薬局に関する市民向け情報を、「すいた年輪サポートなび」に掲載するとともに、医療介護関係者向け情報を「吹田市ケア倶楽部」に掲載した。「すいた年輪サポートなび」は年1回の更新予定。

(3) 認知症の人等を支える連携体制の推進(高齢福祉室)

- 吹田コスモスの会の懇談会が開催され、ご家族からの意見をお聞きした(2022.11)。
- チームオレンジの構築に向けて、地域包括支援センターや総合相談、介護予防のいきいき百歳体操のグループやはつらつ体操教室で対象者を抽出し、認知症本人や家族の意見等を聞く機会を検討し、対応力向上を図っていく。
- 認知症ケアにおける多職種連携研修は認知症地域支援推進員が中心となって検討しており、今後、研修を実施する予定。

(4) 在宅医療を支える連携体制の構築(保健医療総務室、高齢福祉室) **重点取組**

- 在宅医療推進のためのさらなる取組を検討するため、吹田市医師会等を対象とした訪問診療に関する実態調査アンケートを実施する予定(2022.12 頃)。
- 認知症ケアに携わる人に対し、多職種連携研修(事例検討会)を開催する予定。
- 地域包括支援センターを、高齢者本人や家族、地域の医療・介護関係者からの在宅医療・介護連携に関する相談窓口として位置付け相談支援を行う。また、相談内容等の分析結果について、関係機関と共有し、把握した連携の課題について、解決に向けての方策を検討する。

施策の方向2 在宅療養等についての情報発信・相談支援(計画書 p.144)

| 番号 | ロードマップ 指標 | 年度 | 実績 | 目標 | 達成率 | 年度の 評価 | 評価理由等 |
|----|----------------------------------------------------------------------|-----------------|---------------------------------------------------------------------|------------------|-----|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ③ | かかりつけ 医のいる高 齢者 【高齢者等 実態調査】 | 2021年度 | — | 90.0% | — | B | 取組は進めては いるが、コロナ禍 の影響により周 知・啓発の機会が 減少したため。 |
| | | 2022年度 (9月末) | 2023.2 調査予定 | | | B | |
| | | 2023年度 | — | | | — | |
| ④ | かかりつけ 歯科医のい る高齢者 【高齢者等 実態調査】 | 2021年度 | — | 85.0% | — | B | 取組は進めては いるが、コロナ禍 の影響により周 知・啓発の機会が 減少したため。 |
| | | 2022年度 (9月末) | 2023.2 調査予定 | | | B | |
| | | 2023年度 | — | | | — | |
| ⑤ | かかりつけ 薬局を決め ている高齢 者 【高齢者等 実態調査】 | 2021年度 | — | 75.0% | — | B | 取組は進めては いるが、コロナ禍 の影響により周 知・啓発の機会が 減少したため。 |
| | | 2022年度 (9月末) | 2023.2 調査予定 | | | B | |
| | | 2023年度 | — | | | — | |
| ⑥ | 人生の最終 段階におけ る医療につ いて話し合 ったことが ある高齢者 【高齢者等 実態調査】 | 2021年度 | — | 60.0% | — | B | 取組は進めては いるが、コロナ禍 の影響により周 知・啓発の機会が 減少したため。 |
| | | 2022年度 (9月末) | 2023.2 調査予定 | | | B | |
| | | 2023年度 | — | | | — | |
| ⑦ | ポータルサ イト「すいた 年輪サポー トなび」 | 2021年度 | 認知症ケ アパスや 介護保険 料額決定 通知書兼 納入通知 書のお役 立ち情報 で周知 | 周知、 内容の充 実 | — | A | 「すいた年輪サポ ートなび」に高齢 者の生活支援情 報(生活サポート) を追加し内容を 充実するととも に、「すいた年輪 サポートなび」の ちらしにより啓 発を行っているた め。 |
| | | 2022年度 (9月末) | 高齢者生 活支援情 報(インフ ォーマル サービス 情報)を追 加。 | | | A | |
| | | 2023年度 | — | | | — | |

(1)在宅療養等についての市民啓発の推進(高齢福祉室、保健医療総務室)重点取組

- 在宅療養や看取り等についての理解を進めることを目的に、在宅療養に関する出前講座の啓発媒体にACP(アドバンス・ケア・プランニング)や、かかりつけ医等の選定勸奨を追加した。また、リーフレット「大切な人とあなたの人生会議」を配布するとともに、ACP(アドバンス・ケア・プランニング)市民啓発プログラムの普及を行っている。
- 市民の医療に対する意識の醸成を図るため、市内 14 病院に「自分らしく生きる」の啓発媒体データを送信し、活用を依頼した。また、介護保険料額決定通知書兼納入通知書に同封する「お役立ち情報」に「人生会議」について掲載し周知した。
- 在宅療養に関する理解を進めるため、在宅療養に関する出前講座を実施している。また、ACP(アドバンス・ケア・プランニング)やかかりつけ医等に関する出前講座を実施している。
- 「図書館パスファインダー」を地域包括支援センター等に配置し周知を行っている。
- エンディングノートについて、市内 14 病院やコロナワクチン接種会場、出前講座で配布し、普及に努めている。

(2)在宅療養のための医療・介護資源についての情報提供・相談支援

(高齢福祉室、保健医療総務室)

- 「すいた年輪サポートナビ」に高齢者の生活支援情報(インフォーマルサービス情報)を追加した。(すいた年輪サポートナビへのアクセス数 8,670 回(2022.9))
- 「すいた年輪サポートナビ」啓発ちらしを、地域包括支援センターなど関係機関に配布し、活用を進めている。今後、活用促進を図るとともに、医療機関情報を追加し、内容の充実を検討している。
- 病院、診療所、歯科診療所、薬局に関する市民向け情報を、「すいた年輪サポートナビ」に掲載するとともに、医療介護関係者向け情報を「吹田市ケア倶楽部」に掲載した。「すいた年輪サポートナビ」は年1回の更新予定。

基本目標7 安心・安全な暮らしの充実

施策の方向1 高齢者の住まいの安定確保に向けた支援(計画書 p.148～150)

| 番号 | ロードマップ 指標 | 年度 | 実績 | 目標 | 達成率 | 年度の 評価 | 評価理由等 |
|----|-------------------------------------|------------------|----------------|-------|--------|-----------|--------------------------------------------------------------|
| ① | 住まいの困りごとが「段差が多い」認定者【高齢者等実態調査】 | 2021年度 | — | 15.0% | — | A | 住宅改修に関するちらしを介護保険申請書に同封し、また窓口においてパンフレットによる説明を行うなど、周知を図っているため。 |
| | | 2022年度 (9月末) | 2023.2 調査予定 | | | A | |
| | | 2023年度 | — | | | — | |
| ② | 住まいの困りごとが「耐震対策ができていない」高齢者【高齢者等実態調査】 | 2021年度 | — | 10.0% | — | A | 大阪府・耐震事業者と連携した戸別ポスティングを市内全34地区で行い、市内全域での木造住宅の耐震化の啓発に努めているため。 |
| | | 2022年度 (9月末) | 2023.2 調査予定 | | | A | |
| | | 2023年度 | — | | | — | |
| ③ | 住まい探し相談会開催回数 | 2021年度 | 1回/年 | 1回/年 | 100.0% | A | 目標回数を達成しているため。 |
| | | 2022年度 (10月末) | 1回/年 | | 100.0% | A | |
| | | 2023年度 | — | | — | — | |

(1) 住み慣れた家で暮らし続けるための支援の提供(高齢福祉室、障がい福祉室、開発審査室)

- 住宅改修や福祉用具について、介護保険申請書のセットの中に住宅改修のちらしを同封するとともに、窓口でパンフレットを用いて説明を実施している。
- 耐震改修の補助制度について、啓発リーフレットを自治会に全戸回覧し(2022.6)、大阪府や耐震事業者と連携し、補助制度お知らせのポスティングを行った(2022.7～)。また、木造住宅の耐震相談会を実施した(2022.8)。

(2) 高齢者向け住まいの情報提供と相談の実施 **重点取組**

(住宅政策室、高齢福祉室、生活福祉室、障がい福祉室)

- 離職等により住居を失う恐れのある生活困窮者へ住宅確保給付金を支給し、住居のない生活困窮者への一時生活支援を実施。
- 障がい者相談支援センター等において、住まいに関する情報提供を行うとともに、必要に応じて関係機関につなぐ等相談支援を実施しており、今後も相談に適切に対応できるよう、障がい者相談支援センター等関係機関の連携強化に取り組む。

(3) 高齢者向け住まいの質の確保(住宅政策室、福祉指導監査室)

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、サービス付き高齢者向け住宅に対する立入検査は見合わせたが、今後、実施を検討する。
- 有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅に対する集団指導を、市ホームページ上で動画配信により開催した(2022.10)。今後、有料老人ホームについて立入検査を実施するとともに、有料老人ホームに該当するサービスを提供しているサービス付き高齢者向け住宅に対する住宅政策室との合同立入検査の実施について検討する。

(4) 高齢者向け住まいの供給(住宅政策室、高齢福祉室)

- 市営住宅について、2022.6 の入居募集時に、高齢者世帯向け住宅9戸、車いす常用者向け住宅2戸、高齢単身者向け住宅 15 戸を供給した。
- サービス付き高齢者向け住宅(23 件 1,078 戸)、セーフティネット住宅(69 件 1,389 戸)を供給している(2022.9 末)。
- シルバーハウジングについて、近接の介護保険施設を運営する法人と業務委託契約を締結し生活援助員を派遣している。

(5) 高齢者向けウェルネス住宅における取組の充実(健康まちづくり室)

- 高齢者ウェルネス住宅運営事業者から定期的に報告を受け、生活習慣病予防や介護予防に資するプログラムの提供や地域密着型サービスや医療系サービスの提供、健都内外の関係機関と連携したプログラムの提供等に係る調整や進捗管理を実施した。

施策の方向2 バリアフリー化の推進(計画書 p.150)

| 番号 | ロードマップ 指標 | 年度 | 実績 | 目標 | 達成率 | 年度の 評価 | 評価理由等 |
|----|------------------------------|-----------------|-------|--------|-------|-----------|---------------------------------------------------|
| ④ | 特定経路 等のバリア フリー化整 備率 | 2021年度 | 81.8% | 100.0% | 81.8% | B | 新駅開業に伴う 重点整備地区の 増加により目標値 には至っていない ため。 |
| | | 2022年度 (9月末) | 81.8% | | 81.8% | B | |
| | | 2023年度 | — | | — | — | |

(1)バリアフリー化の推進(総務交通室、道路室)

- 歩道のバリアフリー化(視覚障がい者誘導用ブロックの設置や歩道内段差・勾配の解消等)を実施している。

施策の方向3 防災・防犯の取組の充実(計画書 p.151～153)

| 番号 | ロードマップ 指標 | 年度 | 実績 | 目標 | 達成率 | 年度 の評価 | 評価理由等 |
|----|-------------------------------------------------------|--------------------|-------------------|-------------------------------------|-----|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ⑤ | 連 合 自 治 会 単 位 での 自 主 防 災 組 織 結 成 率 | 2021 年度 | 82.4% | 2025 年 に 100%を め ざ す | — | A | 自 主 防 災 組 織 の 新 規 結 成 に 向 け た 地 域 の 動 き は あ る も の の、2020 年 度 以 降 は 新 規 結 成 ま で 至 っ て い な い た め。 |
| | | 2022 年度 (9 月 末) | 82.4% | | | B | |
| | | 2023 年度 | — | | | — | |
| ⑥ | 住 宅 用 火 災 警 報 器 設 置 率 【 高 齢 者 等 実 態 調 査 】 | 2021 年度 | — | 設 置 率 100%に 向 け た 普 及・ 啓 発 | — | A | 年 間 を 通 じ て 予 防 広 報 と し て PR す る な ど、取 組 を 順 調 に 進 め る こ と が で き て い る た め。 |
| | | 2022 年度 (9 月 末) | 2023.2 調 査 予 定 | | | A | |
| | | 2023 年度 | — | | | — | |
| ⑦ | 特 殊 詐 欺 被 害 件 数 | 2021 年度 | 70 件 | 0 件 | — | B | 府 下 的 に 被 害 件 数 は 増 加 傾 向 に あ り、啓 発 に つ い て は 継 続 し て 行 っ て い く た め。 |
| | | 2022 年度 (9 月 末) | 76 件 | | | B | |
| | | 2023 年度 | — | | | — | |

(1)地域における防災力向上の推進(危機管理室、福祉総務室)

- 連合自治会単位の自主防災組織結成の支援を行った。また、他連合の自主防災組織間で情報共有や意見交換できる場を設定することで組織の活性化を図った。
- 防災訓練等への参加呼びかけ、地域で実施する各種訓練に対する支援を行った。
- 地域防災リーダーの育成研修、フォローアップ研修等の開催による地域防災力の向上を行った。
- 災害時要援護者名簿に係る協定締結に向けた勉強会や説明会を開催した。今後、JR 以南及び豊津・江坂地域にある洪水被害想定地域のうち協定未締結の地区での協定締結に向け優先的に進めていく。
- 法改正により市町村に努力義務化された個別避難計画の作成を進めていく。

(2)減災に向けた取組の推進(危機管理室、高齢福祉室、総務予防室)

- 減災の取組
 - ・防災講座等による普及啓発について、オンライン等も活用しながら可能な限り実施した。
 - ・LINE セグメント配信などの市の公式 SNS を活用した情報発信を継続的に実施した。

・風水害時の避難情報等を電話や FAX を通して発信する災害情報自動配信サービス(登録制)を開始した。

○家具等転倒防止器具設置助成について、介護保険要介護認定・要支援認定等結果通知書送付に併せて周知している。

○住宅用火災警報器の設置について、年間を通じて予防広報として PR するとともに、春と秋の火災予防週間中には設置推進案内をポスティングしている(年間 2,800 件)。約 10 年で機器の取り換えや、電池の交換なども必要なため今後も引き続き活動を実施していく。

(3)地域における防犯力向上の推進(危機管理室)

○地域からの依頼による防犯講座や希望する小学校に対して児童向け防犯講座を実施した。

○吹田警察等と連携した防犯活動のほか、青色防犯パトロール員によるパトロール活動を実施している。

○今後、防犯カメラの増設を予定している。

(4)消費者被害や特殊詐欺被害の防止に向けた取組の充実(市民総務室) **重点取組**

○消費者被害に関する啓発活動として、市ホームページや公式 SNS を使った啓発情報の発信を行った。

○悪質商法・特殊詐欺被害防止のため、消費生活センター主催講座や出前講座での啓発や、本庁ロビーでのパネル展示、自治会への啓発ちらしの配付、地域包括支援センターや市内介護事業所へちらしや見守りハンドブックの配付を行った。

○特殊詐欺被害防止連絡会議において、庁内外の機関との情報共有及び啓発情報の発信を行った。

(5)高齢者福祉施設等における防災・防犯対策への支援 **重点取組**

(危機管理室、高齢福祉室、福祉指導監査室)

○避難確保計画について、高齢者施設等を対象に、説明会を開催し(2020.11)、法改正以前の対象施設については、概ね作成が行われた。2022 年度末頃を目途に、作成率が 100%となるよう関係部署と連携を進める。

○高齢者施設等における災害を想定した避難訓練時の実施状況等については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、十分な運営指導・立入検査ができていないため、確認・指導は未実施ではあるが、今後、実施してく予定。

○市内で行われる防災等の啓発事業の情報収集に取り組み、高齢者施設等に情報提供し、高齢者福祉施設等が適切な防災・防犯対策を図ることができるよう働きかけていく。

○感染症対策物資の備蓄に努め、介護サービス事業所に抗原定性検査キットを配付した。また、新型コロナウイルス感染症の感染者等が発生した介護サービス事業所・施設等に、サービスが継続できるよう、通常では想定されないかかり増し経費を補助した。

基本目標8 介護サービスの充実・介護保険制度の持続可能な運営

施策の方向1 介護保険制度の持続可能な運営に向けた取組の推進(計画書 p.156～157)

| 番号 | ロードマップ 指標 | 年度 | 実績 | 目標 | 達成率 | 年度の 評価 | 評価理由等 |
|----|------------------------------------------------------------------|-----------------|----------------------|----------------------|-----|-----------|-----------------------------------------------------|
| ① | 介護人材 確保策の 推進 | 2021年度 | 新規事業 の実施・ 効果検証 | 新規事業 の実施・ 効果検証 | — | A | 資格取得支援事業補助金のメニューの拡充や、処遇改善支援事業を新たにスタートさせるなどの実績があるため。 |
| | | 2022年度 (9月末) | | | | A | |
| | | 2023年度 | | | | — | |
| ② | 受けている 介護保険 サービスに 満足している 利用者の 割合 【高齢者等 実態調査】 | 2021年度 | — | 70.0% | — | A | 吹田市介護保険事業者連絡会と共催で介護フェアを毎年実施するなど、継続的な活動の支援ができているから。 |
| | | 2022年度 (9月末) | 2023.2 調査予定 | | | A | |
| | | 2023年度 | — | | | — | |

(1)介護人材確保策の推進(高齢福祉室、地域経済振興室) **重点取組**

○介護人材確保の取組

- ・従業員のスキルアップを支援する介護サービス事業所に資格取得支援事業補助金を交付。また、補助対象に介護福祉士を追加した(2022.4～)。
- ・処遇改善加算等の取得促進のため、介護職員処遇改善支援事業を実施。
- ・介護施設の医療的ケアの提供体制を確保するため、喀痰吸引等研修を実施。
- ・ハローワーク淀川や JOB なび吹田と連携し、市内介護サービス事業者とマッチングを行うため、セミナーや面接会を実施する。
- ・介護の日に向けて、SNS において PR 動画を配信するとともに、吹田市介護保険事業者連絡会と連携し、介護フェアを開催(2022.11)。

○今後、介護職員初任者研修講座や介護セミナーを実施していく。

(2)介護サービスの質の向上と介護給付適正化(高齢福祉室、福祉指導監査室)

- 指定居宅サービス事業者等の集団指導を、市ホームページ上で動画配信により開催(2022.8、2022.9)。また、指定供託サービス事業所等に対する運営指導等を実施(2022.5～)。
- 吹田市介護保険事業者連絡会と共催で介護フェアを実施(2022.11)。
- 介護給付費適正化支援システムを用いて給付実績を活用した適正化を行った。

施策の方向2 利用者支援の充実(計画書 p.158)

| 番号 | ロードマップ 指標 | 年度 | 実績 | 目標 | 達成率 | 年度 の評価 | 評価理由等 |
|----|---------------------------------------------|-----------------|-------------------------------------|------------------|-------|-----------|---------------------------------------------------------------------------------|
| ③ | ポータルサイト「すいた年輪サポートなび」 | 2021年度 | 認知症ケアパスや介護保険料額決定通知書兼納入通知書のお役立ち情報で周知 | 周知、 内容の 充実 | — | A | 「すいた年輪サポートなび」に高齢者の生活支援情報(生活サポート)を追加し内容を充実するとともに、「すいた年輪サポートなび」のちらしにより啓発を行っているため。 |
| | | 2022年度 (9月末) | 高齢者生活支援情報(インフォーマルサービス情報)を追加。 | | | A | |
| | | 2023年度 | — | | | — | |
| ④ | 「社会福祉法人等による利用者負担軽減事業」の実施申出をしている市内の社会福祉法人の割合 | 2021年度 | 44.4% | 80.0% | 55.5% | B | 微増に留まったため、低所得者対策として、未申請施設には引き続き申請を促していく。 |
| | | 2022年度 (9月末) | 48.1% | | 60.1% | B | |
| | | 2023年度 | — | | — | — | |

(1)介護保険制度の情報提供の充実(高齢福祉室)

- 見やすく分かりやすいデザイン、レイアウトの介護保険制度のパンフレットを65歳到達時の被保険者証送付時、介護保険料額決定通知の際に同封し、介護保険制度を周知。
- 介護保険料額決定通知書兼納入通知書に同封する「お役立ち情報」に「すいた年輪サポートなび」について掲載し周知。また、「すいた年輪サポートなび」に高齢者の生活支援情報(インフォーマルサービス情報)を追加。(すいた年輪サポートなびへのアクセス数 8,670回(2022.9))

(2)低所得者支援の充実(高齢福祉室)

- 介護保険料の減免について、パンフレットを保険料関係の送付物に同封し制度周知を実施。
- 社会福祉法人等による利用者負担軽減事業については、機会をとらえて未申請の施設に対し申請を促していく。

施策の方向3 介護サービスの整備(計画書 p.159)

| 番号 | ロードマップ 指標 | 年度 | 実績 | 目標 | 達成率 | 年度 の評価 | 評価理由等 |
|----|-------------------------------------------|-----------------|-----------------|----------|--------|-----------|--------------------------------------------------------------------|
| ⑤ | 小規模多 機能型居 宅介護 整備箇所 数 | 2021年度 | 9か所 (協議中含む) | 9か所 | 100.0% | A | 2021年度の選 定事業者による 開設が見込まれ るため。 |
| | | 2022年度 (9月末) | 9か所 (協議中含む) | | 100.0% | A | |
| | | 2023年度 | — | | — | — | |
| ⑥ | 看護小規 模多機能 型居宅介 護 整備箇所 数 | 2021年度 | 2か所 | 3か所 | 66.7% | C | 2022年度は選 定されない予定 のため。 |
| | | 2022年度 (9月末) | 2か所 | | 66.7% | C | |
| | | 2023年度 | — | | — | — | |
| ⑦ | 定期巡回・ 随時対応 型訪問介 護看護 整備箇所 数 | 2021年度 | 2か所 (協議中含む) | 3か所 | 66.7% | C | 2022年度に1か 所選定されたた め。 |
| | | 2022年度 (9月末) | 3か所 (協議中含む) | | 100.0% | A | |
| | | 2023年度 | — | | — | — | |
| ⑧ | 認知症高 齢者グル ープホーム 整備箇所 数 | 2021年度 | 20か所 (協議中含む) | 21か 所 | 95.2% | B | 2021年度選定 事業者による開 設が見込まれる ため。また、2022 年度に1か所選 定されたため。 |
| | | 2022年度 (9月末) | 21か所 (協議中含む) | | 100.0% | A | |
| | | 2023年度 | — | | — | — | |
| ⑨ | 小規模特 別養護 老人ホー ム 整備箇所 数 | 2021年度 | 9か所 (協議中含む) | 10か 所 | 90.0% | B | 2021年度選定 事業者による開 設が見込まれる ため。また、2022 年度に1か所選 定されたため。 |
| | | 2022年度 (9月末) | 10か所 (協議中含む) | | 100.0% | A | |
| | | 2023年度 | — | | — | — | |

(1)地域密着型サービスの整備(高齢福祉室)

○2021年度及び2022年度の地域密着型サービスの整備公募により、小規模特別養護老人ホーム2か所、認知症高齢者グループホーム2か所、小規模多機能型居宅介護1か所、定期巡回・随時対応型訪問介護看護1か所を選定。

今後、第8期計画中に整備が必要な、認知症高齢者グループホーム、看護小規模多機能型居宅介護の公募を行っていく。

(2) 今後の施設整備のあり方の検討(高齢福祉室) **重点取組**

- 有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅の設置状況を見ながら、第9期計画策定にあたり必要となる施設整備を検討するとともに、建築から30年以上経った大規模施設等の建て替えについても検討していく。

2 高齢者人口と高齢化率

おおむね計画値どおりに推移しています。

(単位:人)

| | | 令和2年度 (2020年度) | | | 令和3年度 (2021年度) | | | 令和4年度 (2022年度) | | |
|-----|----------------|-------------------|---------|------|-------------------|---------|------|-------------------|---------|------|
| | | 実績 | 計画値 | 対計画比 | 実績 | 計画値 | 対計画比 | 実績 | 計画値 | 対計画比 |
| 全市域 | 人口 | 375,522 | 375,230 | 100% | 378,485 | 376,701 | 100% | 381,024 | 377,728 | 101% |
| | 高齢者人口 | 89,411 | 90,004 | 99% | 89,981 | 89,797 | 100% | 90,240 | 89,818 | 100% |
| | 高齢化率 | 23.8% | 24.0% | 99% | 23.8% | 23.8% | 100% | 23.7% | 23.8% | 100% |
| | 75歳以上人口 | 46,186 | 46,435 | 99% | 46,678 | 46,605 | 100% | 49,099 | 48,978 | 100% |
| | 75歳以上人口 の割合 | 12.3% | 12.4% | 99% | 12.3% | 12.4% | 100% | 12.9% | 13.0% | 99% |
| | 85歳以上人口 | 13,721 | 13,799 | 99% | 14,717 | 14,718 | 100% | 15,482 | 15,482 | 100% |
| | 85歳以上人口 の割合 | 4% | 3.7% | 99% | 3.9% | 3.9% | 100% | 4.1% | 4.1% | 99% |

| | | | | | | | | | | |
|------------------|-------|--------|--------|------|--------|--------|------|--------|--------|------|
| JR以南 | 人口 | 34,394 | 34,674 | 99% | 34,237 | 34,559 | 99% | 34,169 | 34,728 | 98% |
| | 高齢者人口 | 10,148 | 10,377 | 98% | 10,052 | 10,213 | 98% | 9,950 | 10,260 | 97% |
| | 高齢化率 | 29.5% | 29.9% | 99% | 29.4% | 29.6% | 99% | 29.1% | 29.5% | 99% |
| 片山 岸部 | 人口 | 54,540 | 54,861 | 99% | 54,798 | 54,708 | 100% | 55,232 | 54,884 | 101% |
| | 高齢者人口 | 13,410 | 13,646 | 98% | 13,414 | 13,463 | 100% | 13,446 | 13,486 | 100% |
| | 高齢化率 | 24.6% | 24.9% | 99% | 24.5% | 24.6% | 99% | 24.3% | 24.6% | 99% |
| 豊津 江坂 南吹田 | 人口 | 69,141 | 67,985 | 102% | 69,896 | 69,288 | 101% | 70,464 | 69,372 | 102% |
| | 高齢者人口 | 12,442 | 13,004 | 96% | 12,505 | 12,473 | 100% | 12,429 | 12,431 | 100% |
| | 高齢化率 | 18.0% | 19.1% | 94% | 17.9% | 18.0% | 99% | 17.6% | 17.9% | 98% |
| 千里山 佐井寺 | 人口 | 65,903 | 64,550 | 102% | 66,747 | 66,075 | 101% | 67,407 | 66,204 | 102% |
| | 高齢者人口 | 13,539 | 13,514 | 100% | 13,768 | 13,565 | 101% | 13,883 | 13,511 | 103% |
| | 高齢化率 | 20.5% | 20.9% | 98% | 20.6% | 20.5% | 100% | 20.6% | 20.4% | 101% |
| 山田 千里丘 | 人口 | 83,741 | 83,419 | 100% | 83,517 | 83,916 | 100% | 83,523 | 84,006 | 99% |
| | 高齢者人口 | 19,930 | 20,028 | 100% | 20,227 | 19,954 | 101% | 20,504 | 19,849 | 103% |
| | 高齢化率 | 23.8% | 24.0% | 99% | 24.2% | 23.8% | 102% | 24.5% | 23.6% | 104% |
| 千里NT 万博 阪大 | 人口 | 67,803 | 69,831 | 97% | 69,290 | 68,155 | 102% | 70,229 | 68,534 | 102% |
| | 高齢者人口 | 19,942 | 19,435 | 103% | 20,015 | 20,129 | 99% | 20,028 | 20,281 | 99% |
| | 高齢化率 | 29.4% | 27.8% | 106% | 28.9% | 29.5% | 98% | 28.5% | 29.6% | 96% |

住民基本台帳(各年度9月30日現在)
【対計画比】実績値/計画値

3 介護サービス等の給付状況

1 要支援・要介護認定者

(1) 要支援・要介護認定者数

| | 令和2年度 (2020年度) | | | 令和3年度 (2021年度) | | | 令和4年度 (2022年度) | | |
|---------|-------------------|--------|------|-------------------|--------|------|-------------------|--------|------|
| | 実績 | 計画値 | 対計画比 | 実績 | 計画値 | 対計画比 | 実績 | 計画値 | 対計画比 |
| 認定者数(人) | 17,095 | 18,311 | 93% | 17,732 | 17,723 | 100% | 18,140 | 18,431 | 98% |
| 要支援1(人) | 3,025 | 3,212 | 94% | 3,153 | 3,125 | 101% | 3,161 | 3,235 | 98% |
| 要支援2(人) | 2,152 | 2,322 | 93% | 2,136 | 2,223 | 96% | 2,316 | 2,301 | 101% |
| 要介護1(人) | 3,620 | 4,204 | 86% | 3,884 | 3,760 | 103% | 3,834 | 3,914 | 98% |
| 要介護2(人) | 3,016 | 3,110 | 97% | 2,947 | 3,126 | 94% | 3,031 | 3,253 | 93% |
| 要介護3(人) | 2,117 | 2,122 | 100% | 2,227 | 2,196 | 101% | 2,271 | 2,293 | 99% |
| 要介護4(人) | 1,808 | 1,815 | 100% | 1,964 | 1,884 | 104% | 2,032 | 1,968 | 103% |
| 要介護5(人) | 1,357 | 1,526 | 89% | 1,421 | 1,409 | 101% | 1,495 | 1,467 | 102% |

※介護保険事業状況(各年9月末分。)

【対計画比】実績値/計画値

(2) 要支援・要介護認定者の割合

| | 令和2年度 (2020年度) | | | 令和3年度 (2021年度) | | | 令和4年度 (2022年度) | | |
|---------|-------------------|-------|------|-------------------|-------|------|-------------------|-------|------|
| | 実績 | 計画値 | 対計画比 | 実績 | 計画値 | 対計画比 | 実績 | 計画値 | 対計画比 |
| 要支援1(人) | 17.7% | 17.5% | 101% | 17.8% | 17.6% | 101% | 17.4% | 17.6% | 99% |
| 要支援2(人) | 12.6% | 12.7% | 99% | 12.0% | 12.5% | 96% | 12.8% | 12.5% | 102% |
| 要介護1(人) | 21.2% | 23.0% | 92% | 21.9% | 21.2% | 103% | 21.1% | 21.2% | 100% |
| 要介護2(人) | 17.6% | 17.0% | 104% | 16.6% | 17.6% | 94% | 16.7% | 17.6% | 95% |
| 要介護3(人) | 12.4% | 11.6% | 107% | 12.6% | 12.4% | 101% | 12.5% | 12.4% | 101% |
| 要介護4(人) | 10.6% | 9.9% | 107% | 11.1% | 10.6% | 104% | 11.2% | 10.7% | 105% |
| 要介護5(人) | 7.9% | 8.3% | 95% | 8.0% | 8.0% | 101% | 8.2% | 8.0% | 104% |

※介護保険事業状況(各年9月末分。)

【対計画比】実績値/計画値

(3) 65歳以上の要支援・要介護認定者数及び認定率

| | 令和2年度 (2020年度) | | | 令和3年度 (2021年度) | | | 令和4年度 (2022年度) | | |
|-----------|-------------------|--------|------|-------------------|--------|------|-------------------|--------|------|
| | 実績 | 計画値 | 対計画比 | 実績 | 計画値 | 対計画比 | 実績 | 計画値 | 対計画比 |
| 認定者数(人) | 16,798 | 18,064 | 93% | 17,422 | 17,426 | 100% | 17,806 | 18,131 | 98% |
| 65～74歳(人) | 1,874 | 1,769 | 106% | 1,944 | 1,900 | 102% | 1,809 | 1,796 | 101% |
| 75～84歳(人) | 6,463 | 6,793 | 95% | 6,415 | 6,476 | 99% | 6,481 | 6,774 | 96% |
| 85歳以上(人) | 8,461 | 9,502 | 89% | 9,063 | 9,050 | 100% | 9,516 | 9,561 | 100% |
| 第1号被保険者数 | 89,705 | 90,004 | 100% | 90,270 | 90,091 | 100% | 90,451 | 90,112 | 100% |
| 認定率 | 18.7% | 20.1% | 93% | 19.3% | 19.3% | 100% | 19.7% | 20.1% | 98% |

※介護保険事業状況(各年9月末分。)

※認定率は、認定者数の合計を、第1号被保険者数(各年9月末現在。)で除して算出

【対計画比】実績値/計画値

2 介護サービス給付状況

(1)介護サービスの分類について

介護サービスは、大きく分類すると居宅サービス、地域密着型サービス、施設サービスに分けられ、以下のサービスが含まれています。

| | |
|-------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p style="text-align: center;">居宅 介護 サー ビス</p> | <p>訪問介護 訪問入浴介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 居宅療養管理指導 通所介護 通所リハビリテーション 短期入所生活介護 短期入所療養介護 特定施設入居者生活介護 福祉用具貸与 特定福祉用具販売 住宅改修 居宅介護支援</p> |
| <p style="text-align: center;">地域 密着 介護 サー ビス</p> | <p>夜間対応型訪問介護 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護(認知症高齢者グループホーム) 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 (小規模特別養護老人ホーム) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 看護小規模多機能型居宅介護 地域密着型通所介護</p> |
| <p style="text-align: center;">施設 サー ビス</p> | <p>特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設) 介護老人保健施設 介護療養型医療施設 介護医療院</p> |

(2) 総給付費の実績

総給付費の実績は、おおむね計画値どおりとなりました。
 地域密着型介護サービスの給付費については、計画比でやや低くなりました。これは施設整備が計画どおりに進まなかったことが影響していると考えられます。

| | | 総給付費 | | | | |
|------------------|-----------|-------|----------|-----------------|--------|-------------------------|
| | | 総給付費 | 居宅介護サービス | 地域密着型 介護サービス | 施設サービス | 第1号 被保険者1人 あたり給付費 |
| 対 計 画 比 | 第8期 累計 | 30.3% | 31.6% | 24.0% | 31.3% | — |
| | R3 | 95.5% | 98.8% | 83.8% | 94.6% | 95.3% |
| | R4 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| | R5 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

【対計画比】実績値/計画値

| | | 総給付費 | | | | |
|-------------|-----------|--------------|------------------|-------------------------|----------------|----------------------------|
| | | 総給付費 (千円) | 居宅介護サービス (千円) | 地域密着型 介護サービス (千円) | 施設サービス (千円) | 第1号 被保険者1人 あたり給付費(円) |
| 実 績 値 | 第8期 累計 | 24,604,499 | 14,924,892 | 3,151,012 | 6,528,595 | — |
| | R3 | 24,604,499 | 14,924,892 | 3,151,012 | 6,528,595 | 272,409 |
| | R4 | 0 | | | | |
| | R5 | 0 | | | | |
| 計 画 値 | 第8期 累計 | 81,256,426 | 47,300,925 | 13,104,695 | 20,850,806 | — |
| | R3 | 25,763,155 | 15,100,447 | 3,758,450 | 6,904,258 | 285,968 |
| | R4 | 27,248,083 | 15,861,483 | 4,413,326 | 6,973,274 | 302,380 |
| | R5 | 28,245,188 | 16,338,995 | 4,932,919 | 6,973,274 | 312,530 |

(3) 居宅介護サービス

訪問入浴介護、訪問リハビリテーション等、訪問系サービスの給付が計画比でやや高くなり、通所系サービスはやや低くなりました。

訪問介護の実績値については、令和元年度が3,534,896千円、令和2年度が3,871,838千円でしたが、令和3年度に4,459,965千円と大きく伸びています。

通所系サービスは、地域密着型サービスの地域密着型通所介護も減少しており、新型コロナウイルスの影響により通所系サービスの利用控えがうかがえます。

| | | 在宅サービス(居宅介護サービス) | | | | | | |
|------------------|-------|------------------|--------|--------|-------------|----------|-------|-------------|
| | | 訪問介護 | 訪問入浴介護 | 訪問看護 | 訪問リハビリテーション | 居宅療養管理指導 | 通所介護 | 通所リハビリテーション |
| 対 計 画 比 | 第8期累計 | 32.9% | 37.9% | 34.2% | 36.9% | 34.7% | 29.2% | 29.8% |
| | R3 | 102.6% | 118.4% | 106.4% | 115.1% | 108.1% | 91.2% | 93.0% |
| | R4 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| | R5 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

【対計画比】実績値/計画値

| | | 在宅サービス(居宅介護サービス) | | | | | | |
|-------------|-------|------------------|----------------|--------------|-------------------------|----------------------|--------------|-------------------------|
| | | 訪問介護 (千円) | 訪問入浴 介護(千円) | 訪問看護 (千円) | 訪問リハビリ テーション (千円) | 居宅療養 管理指導 (千円) | 通所介護 (千円) | 通所リハビリ テーション (千円) |
| 実 績 値 | 第8期累計 | 4,459,965 | 124,650 | 1,576,564 | 128,985 | 707,996 | 2,067,833 | 685,017 |
| | R3 | 4,459,965 | 124,650 | 1,576,564 | 128,985 | 707,996 | 2,067,833 | 685,017 |
| | R4 | | | | | | | |
| | R5 | | | | | | | |
| 計 画 値 | 第8期累計 | 13,548,629 | 328,487 | 4,614,200 | 349,868 | 2,041,462 | 7,074,021 | 2,299,910 |
| | R3 | 4,347,847 | 105,241 | 1,481,210 | 112,080 | 655,048 | 2,267,874 | 736,959 |
| | R4 | 4,540,718 | 110,391 | 1,544,666 | 117,363 | 684,071 | 2,368,470 | 771,250 |
| | R5 | 4,660,064 | 112,855 | 1,588,324 | 120,425 | 702,343 | 2,437,677 | 791,701 |

短期入所生活介護、短期入所療養介護、特定福祉用具販売、住宅改修は、計画値を大きく下回っています。いずれも減少傾向にあり、住宅改修と特定福祉用具販売はバリアフリーの住宅が増えていることや、すでに住宅改修・福祉用具購入を実施済みの人が増加していることが要因と考えられます。

短期入所生活介護は全国的にも減少傾向にある中、新型コロナウイルスによる利用控えをはじめ、サービス付き高齢者向け住宅・特定施設への入居及び定期巡回・随時対応型訪問介護看護、看護小規模多機能の利用が増えていることが要因の一つと考えられます。

| | | 居宅介護サービス | | | | | | |
|------------------|-------|----------|----------|-------------|--------|----------|-------|--------|
| | | 短期入所生活介護 | 短期入所療養介護 | 特定施設入居者生活介護 | 福祉用具貸与 | 特定福祉用具販売 | 住宅改修 | 居宅介護支援 |
| 対 計 画 比 | 第8期累計 | 23.6% | 20.2% | 30.4% | 33.2% | 27.4% | 27.0% | 33.3% |
| | R3 | 80.4% | 63.4% | 94.8% | 103.4% | 86.0% | 84.5% | 103.8% |
| | R4 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| | R5 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

【対計画比】実績値/計画値

| | | 居宅介護サービス | | | | | | |
|-------------|-------|------------------|------------------|---------------------|----------------|------------------|--------------|----------------|
| | | 短期入所生活介護 (千円) | 短期入所療養介護 (千円) | 特定施設入居者生活介護 (千円) | 福祉用具貸与 (千円) | 特定福祉用具購入 (千円) | 住宅改修 (千円) | 居宅介護支援 (千円) |
| 実 績 値 | 第8期累計 | 610,872 | 98,295 | 1,570,043 | 1,126,809 | 46,318 | 95,431 | 1,626,113 |
| | R3 | 610,872 | 98,295 | 1,570,043 | 1,126,809 | 46,318 | 95,431 | 1,626,113 |
| | R4 | | | | | | | |
| | R5 | | | | | | | |
| 計 画 値 | 第8期累計 | 2,586,836 | 486,298 | 5,171,395 | 3,392,594 | 169,004 | 353,427 | 4,884,794 |
| | R3 | 760,167 | 155,028 | 1,656,047 | 1,089,236 | 53,871 | 112,967 | 1,566,872 |
| | R4 | 883,863 | 164,330 | 1,729,879 | 1,136,216 | 56,745 | 118,668 | 1,634,853 |
| | R5 | 942,806 | 166,940 | 1,785,469 | 1,167,142 | 58,388 | 121,792 | 1,683,069 |

(4)地域密着型サービス

夜間対応型訪問介護は吹田市内にサービス事業所がないため、利用実績はなく、計画上也定期巡回・随時対応型訪問介護看護等で必要な供給量を補っています。

認知症対応型通所介護は計画値をやや下回っています。年々減少傾向にあり、認知症でも通常の通所介護を利用する人が一定程度いるためと考えられます。

小規模多機能型居宅介護・認知症対応型共同生活介護はほぼ見込み通りとなっています。

| | | 地域密着型サービス | | | |
|------------------|-----------|---------------|----------------|-----------------|------------------|
| | | 夜間対応型 訪問介護 | 認知症対応型 通所介護 | 小規模多機能型 居宅介護 | 認知症対応型 共同生活介護 |
| 対 計 画 比 | 第8期 累計 | 0.0% | 24.0% | 30.1% | 28.0% |
| | R3 | - | 75.8% | 107.7% | 96.2% |
| | R4 | - | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| | R5 | - | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

【対計画比】実績値/計画値

| | | 地域密着型サービス | | | |
|-------------|-----------|-----------------------|------------------------|-------------------------|--------------------------|
| | | 夜間対応型 訪問介護 (千円) | 認知症対応型 通所介護 (千円) | 小規模多機能型 居宅介護 (千円) | 認知症対応型 共同生活介護 (千円) |
| 実 績 値 | 第8期 累計 | 0 | 169,400 | 301,646 | 836,514 |
| | R3 | 0 | 169,400 | 301,646 | 836,514 |
| | R4 | 0 | | | |
| | R5 | 0 | | | |
| 計 画 値 | 第8期 累計 | 0 | 704,963 | 1,002,534 | 2,986,687 |
| | R3 | 0 | 223,465 | 280,111 | 869,875 |
| | R4 | 0 | 238,408 | 356,146 | 957,259 |
| | R5 | 0 | 243,090 | 366,277 | 1,159,553 |

定期巡回・随時対応型訪問介護看護、看護小規模多機能型居宅介護の給付実績は年々増加傾向にありますが、計画値を大きく下回っています。定期巡回・随時対応型訪問介護看護については、第7期計画期間に選定された1事業所が開設できていないことが影響していると考えられます。地域密着型通所介護の給付実績は、減少傾向にあります。

| | | 地域密着型サービス | | | |
|------------------|-------|----------------------|------------------|---------------|-----------|
| | | 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 | 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | 看護小規模多機能型居宅介護 | 地域密着型通所介護 |
| 対 計 画 比 | 第8期累計 | 24.4% | 12.3% | 13.7% | 25.1% |
| | R3 | 95.7% | 49.4% | 57.0% | 78.3% |
| | R4 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| | R5 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

【対計画比】実績値/計画値

| | | 地域密着型サービス | | | |
|-------------|-------|------------------------------|--------------------------|-----------------------|-------------------|
| | | 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 (千円) | 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 (千円) | 看護小規模多機能型居宅介護 (千円) | 地域密着型通所介護 (千円) |
| 実 績 値 | 第8期累計 | 601,527 | 179,089 | 78,178 | 984,660 |
| | R3 | 601,527 | 179,089 | 78,178 | 984,660 |
| | R4 | | | | |
| | R5 | | | | |
| 計 画 値 | 第8期累計 | 2,464,097 | 1,453,114 | 568,940 | 3,924,360 |
| | R3 | 628,496 | 362,174 | 137,160 | 1,257,169 |
| | R4 | 786,962 | 544,599 | 215,754 | 1,314,198 |
| | R5 | 1,048,639 | 546,341 | 216,026 | 1,352,993 |

(5) 施設サービス

介療養型医療施設は、令和5年度までの経過措置の後、廃止されます。なお、吹田市には介護療養型医療施設と介護医療院はなく、給付実績があるのは、他市町村で利用している被保険者がいるためです。

特別養護老人ホーム・介護老人保健施設の利用はほぼ横ばいの状態が続いています。

| | | 施設サービス | | | |
|------------------|-----------|-----------|----------|-----------|-------|
| | | 特別養護老人ホーム | 介護老人保健施設 | 介護療養型医療施設 | 介護医療院 |
| 対 計 画 比 | 第8期 累計 | 30.8% | 32.3% | - | 17.4% |
| | R3 | 93.5% | 96.9% | - | 52.3% |
| | R4 | 0.0% | 0.0% | - | 0.0% |
| | R5 | 0.0% | 0.0% | - | 0.0% |

【対計画比】実績値/計画値

| | | 施設サービス | | | |
|-------------|-----------|-------------------|------------------|-------------------|---------------|
| | | 特別養護老人ホーム (千円) | 介護老人保健施設 (千円) | 介護療養型医療施設 (千円) | 介護医療院 (千円) |
| 実 績 値 | 第8期 累計 | 3,850,498 | 2,653,701 | 121 | 24,275 |
| | R3 | 3,850,498 | 2,653,701 | 121 | 24,275 |
| | R4 | | | | |
| | R5 | | | | |
| 計 画 値 | 第8期 累計 | 12,490,313 | 8,221,117 | 0 | 139,376 |
| | R3 | 4,118,457 | 2,739,359 | 0 | 46,442 |
| | R4 | 4,185,928 | 2,740,879 | 0 | 46,467 |
| | R5 | 4,185,928 | 2,740,879 | 0 | 46,467 |

3 地域密着型サービス事業所の整備数

(1)第8期計画における地域密着型サービス事業所の必要整備数及び整備状況

2022年12月現在

| 事業名 | 第8期計画における 必要整備数 | 整備済数 (開設準備・ 協議中を含む) | 残りの 必要整備数 |
|------------------|--------------------|---------------------------|--------------|
| 小規模特別養護老人ホーム | 2か所 | 2か所 | 0か所 |
| 認知症高齢者グループホーム | 2か所 (6ユニット) | 2か所 (5ユニット) | 1ユニット(※) |
| 小規模多機能型居宅介護 | 1か所 | 1か所 | 0か所 |
| 看護小規模多機能型居宅介護 | 1か所 | 0か所 | 1か所 |
| 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | 1か所 | 1か所 | 0か所 |

※ 必要整備数2か所(6ユニット(共同生活住居)分)のうち、整備済数2か所(5ユニット)となったため、残り1ユニットが、第8期計画中の必要整備数となっています。

(2) サービス整備圏域別地域密着型サービスの整備状況

2022年12月現在

| サービス整備圏域 | 状況 | 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護(小規模特別養護老人ホーム) | 認知症対応型共同生活介護(認知症高齢者グループホーム) | 小規模多機能型居宅介護 | 看護小規模多機能型居宅介護 | 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | 認知症対応型通所介護(デイサービス) | 夜間対応型訪問介護 |
|----------|-------------|----------------------------------------------|-------------------------------------------------|---------------------------------------|----------------------|--------------------------------------|-----------------------------------|-----------|
| JR以南 | 第8期必要整備数 | | | 1か所 | | | | |
| | 開設済 | | ・「あい」 ・きさく苑吹田 ・寿 | | | | ・松風園 ・あいあい | |
| | 開設準備・協議中 | (R3年度選定) ・燦愛会 | (R3年度選定) ・燦愛会 | (R3年度選定) ・燦愛会 | | | | |
| 片山岸部 | 第8期必要整備数 | | | | | | | |
| | 開設済 | | ・ヴィラコティ岸部 ・市立岸部中 ・愛の家グループホーム吹田SST | ・豊津の郷 ・パナソニックエイジフリーケアセンター吹田健都 | ・メルヴェイユ吹田 ・なでしこ吹田 | | ・吹田竜ヶ池 ・パナソニックエイジフリーケアセンター吹田健都 | |
| | 開設準備・協議中 | | | | | (H29年度選定) ・パナソニックエイジフリーケアセンター吹田健都 | | |
| 豊津江坂南吹田 | 第8期必要整備数 | | | | | | | |
| | 開設済 | ・陽翠苑 ・憩～江坂～ | ・エコ吹田 ・やすらぎ ・明日葉 ・憩～江坂～ | ・パナソニックエイジフリーケアセンター吹田江坂町 | | ・ジャパンケア吹田 | ・エバーグリーン | |
| | 開設準備・協議中 | | | | | | | |
| 千里山佐井寺 | 第8期必要整備数 | | 1か所 | | | | | |
| | 開設済 | ・縁(ゆかり) ・千里春日小規模特別養護老人ホーム | ・めいの家 ・里(みちのり) | ・千里の郷 ・楽(このむ) | | | ・寿楽荘千里山西 ・寿楽荘竹谷生活リハビリハウス | |
| | 開設準備・協議中 | | | | | | | |
| 山田千里丘 | 第8期必要整備数 | 1か所 | 1か所 | | 1か所 | 1か所 | | |
| | 開設済 | ・メヌホット千里丘 ・ここから南千里 | ・たんぼぼ ・ここから南千里 | ・メヌホット千里丘 ・パナソニックエイジフリーケアセンター吹田山田西 | | | ・いのこの里 | |
| | 開設準備・協議中 | | | | | | | |
| 千里NT万博阪大 | 第8期必要整備数 | 1か所 | | | | | | |
| | 開設済 | ・スローライフ千里 ・はるる | ・桃山台 ・スローライフ千里 ・たのしい家南千里 ・グループホーム高寿古江台 | ・はるる | | | | |
| | 開設準備・協議中 | (R2年度選定) ・憩～北千里～ (R4年度選定) R4年度選定事業者 | (R2年度選定) ・憩～北千里～ (R4年度選定) R4年度選定事業者 | | | (R4年度選定) R4年度選定事業者 | | |
| 全市域 | 第8期必要整備数 | 2か所 | 2か所 | 1か所 | 1か所 | 1か所 | | |
| | (うちR3年度選定済) | (1か所) | (1か所) | (1か所) | | | | |
| | (うちR4年度選定済) | (1か所) | (1か所) | | | (1か所) | | |
| | 開設済 | 7施設 | 18施設 | 8施設 | 2施設 | 1施設 | 8施設 | 0施設 |
| | 開設準備・協議中 | 3施設 | 3施設 | 1施設 | 0施設 | 2施設 | 0施設 | 0施設 |

4 介護予防・日常生活支援総合事業

(1) 高齢者安心・自信サポート事業(介護予防・生活支援サービス事業)

| | 令和元年度 (2019年度) | | | 令和2年度 (2020年度) | | | 令和3年度 (2021年度) | | |
|--------------|-------------------|--------|------|-------------------|--------|------|-------------------|--------|------|
| | 実績 (9月分) | 計画値 | 対計画比 | 実績 (9月分) | 計画値 | 対計画比 | 実績 (9月分) | 計画値 | 対計画比 |
| 訪問型サポートサービス | 1,910人 | 1,991人 | 96% | 1,801人 | 2,019人 | 89% | 1,668人 | 1,852人 | 90% |
| 通所型サポートサービス | 1,795人 | 1,924人 | 93% | 1,607人 | 2,151人 | 75% | 1,567人 | 1,653人 | 95% |
| 介護予防ケアマネジメント | 1,988人 | 2,127人 | 93% | 1,847人 | 2,226人 | 83% | 1,706人 | 1,899人 | 90% |

(2) 吹田市民はつらつ元気大作戦(一般介護予防事業)

ア 介護予防普及啓発事業

| | 令和元年度 (2019年度) | | 令和2年度 (2020年度) | | 令和3年度 (2021年度) | |
|-----------|-------------------|--------|-------------------|-------|-------------------|--------|
| | 開催回数 | 延参加者数 | 開催回数 | 延参加者数 | 開催回数 | 延参加者数 |
| はつらつ体操教室 | 364回 | 3,421人 | 90回 | 681人 | 332回 | 2,226人 |
| お口元気アップ教室 | 10回 | 165人 | 2回 | 13人 | 12回 | 91人 |
| 口腔機能向上講演会 | 2回 | 51人 | 1回 | 60人 | 2回 | 68人 |
| 今こそ！栄養教室 | 8回 | 179人 | 4回 | 45人 | 9回 | 68人 |
| 栄養改善講演会 | 2回 | 125人 | 1回 | 45人 | 2回 | 299人 |
| 認知症予防教室 | 90回 | 1,202人 | 0回 | 0人 | 0回 | 0人 |
| 認知症予防講演会 | 3回 | 343人 | 1回 | 43人 | 3回 | 109人 |
| 笑い介護予防講演会 | 1回 | 199人 | 1回 | 42人 | 1回 | 48人 |

イ 介護予防普及啓発事業

| | 令和元年度(2019年度) | | | 令和2年度(2020年度) | | | 令和3年度(2021年度) | | |
|-------------------------|---------------|---------|------|---------------|---------|------|---------------|---------|------|
| | 実績 | 計画値 | 対計画比 | 実績 | 計画値 | 対計画比 | 実績 | 計画値 | 対計画比 |
| いきいき百歳体操 活動支援実施グループ数 | 154グループ | 140グループ | 110% | 152グループ | 180グループ | 84% | 155グループ | 195グループ | 79% |
| 介護予防推進員 登録者数 | 139人 | 160人 | 87% | 131人 | 180人 | 73% | 137人 | 187人 | 73% |
| ひろばde体操 実施箇所数 | 12か所 | 8か所 | 150% | 14か所 | 10か所 | 140% | 17か所 | 13か所 | 131% |

5 介護給付費決算額

(単位:千円)

| | 令和元年度 (2019年度) | | | 令和2年度 (2020年度) | | | 令和3年度 (2021年度) | | |
|----------------------|-------------------|------------|------|-------------------|------------|------|-------------------|------------|------|
| | 実績 | 計画値 | 対計画比 | 実績 | 計画値 | 対計画比 | 実績 | 計画値 | 対計画比 |
| ①標準給付費 | 23,985,756 | 26,456,344 | 91% | 25,085,899 | 28,225,417 | 89% | 25,974,848 | 27,304,556 | 95% |
| 居宅サービス費 | 12,944,736 | 14,034,376 | 92% | 13,861,470 | 15,229,872 | 91% | 14,924,892 | 15,100,447 | 99% |
| 地域密着型サービス費 | 3,066,642 | 4,102,907 | 75% | 3,082,393 | 4,247,918 | 73% | 3,151,012 | 3,758,450 | 84% |
| 施設サービス費 | 6,521,469 | 6,515,787 | 100% | 6,621,573 | 6,576,706 | 101% | 6,528,595 | 6,904,258 | 95% |
| 特定入所者介護サービス費 | 644,054 | 737,684 | 87% | 643,060 | 743,105 | 87% | 493,029 | 592,172 | 83% |
| 高額介護サービス費 | 689,084 | 685,511 | 101% | 745,495 | 713,505 | 104% | 754,750 | 803,233 | 94% |
| 高額医療合算介護サービス費 | 98,563 | 93,349 | 106% | 109,606 | 98,426 | 111% | 98,780 | 122,037 | 81% |
| 審査支払手数料 | 21,208 | 24,233 | 88% | 22,302 | 26,751 | 83% | 23,790 | 23,959 | 99% |
| その他(※) | — | 262,497 | — | — | 589,134 | — | — | — | — |
| ②地域支援事業費 | 1,626,200 | 1,793,474 | 91% | 1,559,887 | 1,883,931 | 83% | 1,626,200 | 1,763,962 | 92% |
| 介護予防・日常生活支援 総合事業費 | 1,105,550 | 1,209,570 | 91% | 1,030,238 | 1,288,521 | 80% | 1,105,550 | 1,208,795 | 91% |
| 包括的支援事業 | 475,944 | 583,904 | 82% | 483,564 | 595,410 | 81% | 475,944 | 555,167 | 86% |
| 任意事業費 | 44,706 | | | 46,085 | | | 44,706 | | |
| 合計(①+②) | 25,611,956 | 28,249,818 | 91% | 26,645,786 | 30,109,348 | 88% | 27,601,048 | 29,068,518 | 95% |

※その他は、一定以上所得者の利用者負担の見直しに伴う財政影響額及び消費税率の見直しを勘案した影響額、介護職員の処遇改善に伴う介護報酬改定に係る財政影響額の合計を記載しています。